エコ・プラント姫の沢運転管理業務委託

仕様書

市民生活部協働環境課
環境センター

第1章 ごみ焼却施設・リサイクル施設関係

第1節　エコ・プラント姫の沢運転管理業務委託仕様書

第１款　業務説明

1. 業務名

　　エコ･プラント姫の沢運転管理業務委託

2. 準備期間

　　平成27年3月1日から平成27年3月31日までとする。但し、委託料は発生しないものとする。

3. 委託期間

　　平成27年4月1日から平成30年3月31日

4. 委託場所

　　熱海市熱海字笹尻1804番地の8地内

　　熱海市熱海字姫の尾1802番地の6地内

5. 施設名及び施設概要

　1）施設名

　　熱海市「エコ･プラント姫の沢」

　2）施設概要

　　(1)ごみ焼却施設

炉形式	:准連続燃焼式焼却炉（平成13年度より連続燃焼） 102t／24h×2炉　計204t／日 （ごみ焼却:180t／日、下水道汚泥:24t／日）
受入供給方式	:ピット＆クレーン方式
灰出し方式	:ピット＆クレーン方式
ガス処理方式	:無触媒脱硝方式 ろ過式集じん方式 乾式消石灰･活性炭吹き込み
余熱利用	:場内給湯･暖房、白煙防止
排水処理方式	:生物処理･凝集沈殿ろ過方式
ダスト処理方式	:薬剤処理方式
通風方式	:平衡通風方式

　　(2)リサイクル施設

受入供給方式	:ダンピングボックス投入方式

破砕形式　　　　　:2軸せん断式破砕機　　　11t／5h
衝撃せん断回転式破砕機　11t／5h
（破砕・選別設備　10t／日）
搬送方式　　　　　:ベルトコンベヤ方式
選別方式　　　　　:（4種選別）鉄・アルミ・不燃物・可燃物
（缶類選別設備　　9t／日）
再生方式　　　　　:圧縮成型方式
搬出方式　　　　　:フォークリフト及び搬出トラック

（3）付帯施設（小石ヶ沢受水槽）
受水・送水設備
受水槽　　　　　　:240t
送水ポンプ　　　　:水中モータポンプ
最大送水量　　　　:0．25m³／分×2 台

6．運転条件
1）計画ごみ質（参考値）
（1） 組成

	低質ごみ	基準ごみ	高質ごみ
水　　　分　　（%）	72.2	61.9	46.8
可　燃　分　　（%）	22.8	32.5	47.3
灰　　　分　　（%）	5.0	5.6	5.9
低 位 発 熱 量　（kcal/kg）	900	1,500	2,100
見 掛 比 重	0.20～0.30 基準　0.25～0.30		

（2）プラスチック類混入率
合成樹脂、皮革、ゴム類について　16.9%（乾燥後）

7．公害防止基準
1）大気

項　　目	排 出 基 準 値
ばいじん量	0．02g/m³N 以下（乾きガス基準）
硫黄酸化物	30ppm 以下
塩化水素	150ppm 以下
窒素酸化物	120ppm 以下
一酸化炭素	50ppm 以下

※　排出濃度は酸素濃度12%換算値

2）騒音

時　間　帯	6〜8 時	8〜18 時	18〜22 時	22〜6 時
騒音規制値(dB(A))	50	55	55	45

（敷地境界線における基準）

3）振動

時　間　帯	8〜20 時	20〜8 時
振動規制値(dB(A))	60	55

（敷地境界線における基準）

4）悪臭

区　分 項　目	敷地境界線における規制値
アンモニア	2　ppm
メチルメルカプタン	0．002　〃
硫化水素	0．02　〃
硫化メチル	0．01　〃
トリメチルアミン	0．02　〃
二硫化メチル	0．009　〃
アセトアルデヒド	0．05　〃
スチレン	0．4　〃
ノルマル酪酸	0．002　〃
イソ吉草酸	0．004　〃
ノルマル吉草酸	0．002　〃
プロピオン酸	0．07　〃
プロピオンアルデヒド	0．05　〃
ノルマルブチルアルデヒド	0．009　〃
イソブチルアルデヒド	0．02　〃
ノルマルバレルアルデヒド	0．009　〃
イソバレルアルデヒド	0．02　〃
イソブタノール	0．9　〃
酢酸エチル	3　〃
メチルイソブチルケトン	1　〃
トルエン	10　〃

キシレン	１　　　　〃
臭気強度	２．５　　ppm

5）ダイオキシン

項　　目	排 出 基 準 値
大気排出基準	1ng-TEQ/m^{3}N 未満
ばいじん基準	3ng-TEQ/m^{3}N 未満

第2款　一般事項

（目的）

第１条　本仕様書は、熱海市（以下「委託者」という。）と受託者との間で、熱海市「エコ・プラント姫の沢」の運転管理業務（以下「業務」という。）を適切に行うことを目的とする。

（業務の範囲）

第２条　業務の施設範囲は、廃棄物焼却施設（以下「ごみ焼却施設」という。）及び廃棄物再生利用施設（以下「リサイクル施設」という。）とする。

２　業務の委託範囲は、本仕様書に掲げる設備の運転操作、監視、記録、日常的な保守点検整備、修繕及びその他これらに付随する一切の業務とする。

（業務の履行）

第３条　受託者は、業務の公共的使命、社会的重要性を十分に認識し、施設の運転管理を円滑に行うとともに、施設の機能を十分発揮できるよう契約書、仕様書、及びその他関係書類に基づき、業務を効率的、かつ、経済的に行うよう努めなければならない。

（運転管理）

第４条　受託者は、委託者が毎年度作成する熱海市一般廃棄物処理計画書に基づき、別紙3で定める月焼却予定表（焼月様式第１号）を作成し、施設の運転を行わなければならない。

２　施設の運転管理にあたっては、公害防止関係法令及び公害防止基準（２～４頁）を遵守しなければならない。

（責任者等の選任）

第５条　受託者は、業務を適正に履行する為に必要な業務従事者を配置し、業務従事者の中から、統括責任者、副統括責任者及び班長（以下「責任者等」という。）を選任しなければならない。

２　前項により選任された責任者等が、病気その他の事由により、長期にわたり職務を全うすることが困難な場合は、新たに当該責任者等を選任しなければならない。

（統括責任者等の資格等及び職務）

第6条　受託者は、別紙1に従い、業務従事者を配置しなければならない。

２　統括責任者及び副統括責任者の職務は次の各号のとおりとする。

（1）統括責任者は、施設に常駐し、委託者の指示に従い、現場統括者として業務に関する指揮監督及び一切の事項を処理する。

（2）統括責任者は、業務の公共的使命の重大性に鑑み、関係法令等を遵守し、また、現場作業の安全及び秩序を保ち、事故、火災等の防止に努めなければならない。

（3）統括責任者は施設の異常又は故障を発見した場合は、速やかに適切な処置をとるとともに、委託者に報告し、委託者の指示を受けなければならない。

（4）副統括責任者は、統括責任者を補佐し、統括責任者が事故又は不在の時にはその職務を代理するものとする。

３　業務従事者は、業務施行時に業務に関係しない土地や建物、部屋へ必要な範囲を超えて立ち入ってはならない。また、態度及び言葉遣いに十分注意し、市民・来場者等の誤解を招く行為は慎まなければならない。

（労務管理）

第7条　受託者は、業務を実施するにあたり、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

（1）業務従事者の勤務については、労働基準法、労働安全衛生法、労働者災害補償保険法、健康保険法、厚生年金保険法、雇用保険法等の労働関連法令を遵守しなければならない。

（2）業務従事者の業務にあっては、労働安全衛生関係法令及び廃棄物の処理及び清掃に関する法律等に基づく作業主任者、取扱責任者等を適正に配置し、作業の安全を第一として、作業効率・作業能率の向上に努める。

２　受託者は、業務従事者の労務管理、人事管理上の一切の責任を負わなければならない。

（教育・訓練等）

第8条　　受託者は、施設の適正な管理と安定した運転を維持するため、業務従事者に必要な指導、教育、訓練等を行わなければならない。

２　受託者は、業務上特に危険な作業については、労働災害を防止するために万全な体制を確立し、業務従事者に適正な指導、教育を行わなければならない。

（災害時及び緊急事態発生時の対応）

第9条　受託者は、地震、台風等の災害時及び爆発、火災などの緊急事態の発生に備え、業務従事者を非常招集できる体制を確立しなければならない。

2　受託者は、災害時及び緊急事態が発生した場合には、直ちに業務従事者を所定の場所に配置して適切な措置を講ずるとともに、委託者に直ちに報告しなければならない。

3　受託者は、前項の対応措置の報告について、委託者に書面で速やかに提出しなければならない。

（提出書類）

第10条　受託者は、別紙2に従い、書類を委託者に提出しなければならない。

2　受託者は、前項の提出書類の内容を変更しようとするときは、変更届出書等を速やかに、委託者に提出しなければならない。

（秘密等の保持）

第11条　受託者は、業務履行上知り得た秘密等を漏らしてはならない。

（関係法令等の遵守）

第12条　受託者は、業務の履行にあたり、関係法令等を遵守しなければならない。

（検査の実施）

第13条　委託者は、受託者の業務の履行を確認するため、次の各号の検査を毎月実施する。

（1）書類検査（第23条に規定する各種報告書等）

（2）その他、委託者が必要と認めるもの。

（協議）

第14条　仕様書等の解釈について疑義を生じたとき、又は仕様書等に定めがない事項については、双方協議のうえ定めるものとする。

第3款　業務要領

（業務の内容）

第15条　勤務の内容は、次の各号のとおりとする。

（1）月焼却予定表（焼月様式第１号）の作成

施設の月焼却予定表（焼月様式第1号）は、熱海市一般廃棄物処理計画書に基づき作成しなければならない。

（2）次に掲げる設備の運転操作、保守、点検（日常、月例等）、整備、調整、修繕及び、測定記録等の実施

①　ごみ焼却施設

ア　燃焼設備

イ　燃焼ガス処理設備

ウ　余熱利用設備

ｴ　通風設備

オ　灰出し設備

ｶ　計装設備

キ　その他設備

②　リサイクル施設

ア　破砕設備

イ　搬送設備

ウ　選別設備

ｴ　再生設備

オ　貯留・搬出設備

ｶ　集じん・脱臭設備

キ　その他設備

③　共通設備

ア　受入・供給設備

イ　給排水設備（受水設備も含む）

ウ　排水処理施設

ｴ　配管設備

オ　雑設備

ｶ　電気設備

キ　その他設備

④　計量棟

ア　計量設備（計量システム、トラックスケール等）

イ　料金徴収設備

（3）施設管理

①　防火管理者を選任し、火気の始末を徹底して、火災の防止に努めなければならない。

②　施設の機器、備品、工具等の紛失及び無断侵入者がないよう努めなければならない。

③　照明の点灯は、節電に努めなければならない。

④　門扉及び玄関の開錠は午前7時とし、施錠は午後6時とする。

（4）施設の清掃

装置、設備、工場棟各室内、及び受託者が使用する部屋等の清掃

（5）薬剤類、消耗品類、貸与物件等の管理

①　業務に関する薬剤類、消耗品類、部品、材料、油脂類の管理・在庫確認・受入立会

②　物品等の整理整頓

③　運転日誌など帳票類の整理整頓

④　貸与物件の管理

（運転管理業務内容等）

第16条　一般的な保守点検作業内容については、次の各号のとおりとする。

（1）安全衛生

受託者は、業務に関する運転及び点検整備は、労働安全衛生法等の関係諸法令に基づき業務従事者の安全と健康を確保するよう努めるとともに、特に次の作業については、十分安全に留意しなければならない。

①　酸素欠乏及び有害ガス発生場所における作業

②　薬剤等の取扱作業

③　高所作業

④　電気作業

⑤　高温、高圧作業

⑥　粉じん等の発生場所における作業

⑦　回転機器の取扱い作業

2　受託者が行う業務に関する機器及び装置に共通する作業内容は、次の各号のとおりとする。

（1）運転管理業務

①　ごみ焼却施設運転管理業務

機械設備取扱説明書等に従い、次のとおり施設の運転管理、保守点検等を行うものとする。

ア　中央制御室にある監視盤、データ処理の操作、監視、警報に対する処理、連絡、記録の管理

イ　各種機器の運転操作及び監視

ウ　各種機器の作動状況、機能の点検調査

エ　各種計測器類の点検

オ　各種機器の整備、防災、保安管理

カ　消耗品、薬品、予備品の出入庫管理

キ　工場棟内外の整理整頓、日常の定期清掃

ク　焼却灰等の積込作業

ケ　受変電設備以外の電気設備の保守管理（二次側以降）

コ　その他運転管理に必要な業務

②　リサイクル施設運転管理業務

機械設備取扱説明書等に従い、施設の運転管理、保守点検等を行うものとする。

ア　中央制御室にある監視盤、データ処理の操作、監視、警報に対する処理、連絡記録の管理

イ　各種機器の運転操作及び監視

ウ　各種機器の作動状況、機能の点検調査

ェ　各種計測器類の点検

オ　各種機器の整備、防災、保安管理

カ　消耗品、薬品、予備品の出入庫管理

キ　工場棟内外の整理整頓、日常の定期清掃

ク　受変電設備以外の電気設備の保守管理（二次側以降）

ケ　その他運転管理に必要な業務

③　共通設備

ア　プラットホームの車輌管制及び搬入管理

イ　計量管理

ウ　ごみ処理手数料の徴収

ェ　焼却灰等の運搬作業（し尿処理施設からの焼却灰の運搬作業も含む）

オ　プラント用水ポンプ場の保守点検

（熱海市熱海字姫の尾 1802-6 の一部　小石ヶ沢受水槽）

（2）受託者は、燃料・オイル・薬品等の消耗が著しく変動した場合又は、設備等の処理状況が悪化した場合、原因を調査し、委託者に報告しなければならない。

（3）その他委託者が必要と認めるもの。

（運転計画等）

第17条　受託者は、別紙3で定める月焼却予定表（焼月様式第 1 号）、月勤務予定表（焼月様式第2号）、点検作業予定表（焼月様式第3号）等を速やかに作成し、委託者の指定した期日までに提出しなければならない。

（運転操作）

第18条　受託者は、業務について、月焼却予定表（焼月様式第 1 号）及び委託者が貸与する保安規定、竣工図、単体機器検査成績表並びに機器設備・電気設備・計装制御・データ処理設備取扱説明書に基づき、適正にその業務を履行しなければならない。

2　受託者は、委託者の実施する工事等に伴い、運転の計画及び方法の変更が必要な場合には、双方協議のうえ変更するものとする。

（保守点検）

第19条　受託者は、常に施設の保守管理に注意を払い、保守点検作業は、第16条の規定に基づき、実施しなければならない。

2　受託者は、予備の機材、部品等の整理整頓に心掛け、適正に保管・管理を行い、貸与された用具類、工具類及び機器等を紛失した場合、受託者が責任をもって補充しなければならない。

（保全の職務）

第２０条　統括責任者は、委託者が作成する年間整備計画書のためのデータを整理しなければならない。

２　統括責任者は、委託者が行う施設の定期点検等の工程及び内容を把握した上で、当該定期点検等に立会うとともに、点検報告会に出席しなければならない。

３　ごみ焼却施設の当直者と日勤者は、引継ぎを行い、運転状況について把握するとともに、不具合事項についての調査、修繕等の対応をしなければならない。

４　受託者は、委託者が作成する年間整備計画に含まれない機器整備について、突発的な状況変化を見極め、整備の必要性の判断を行わなければならない。

５　受託者は、突発的に発生する故障で、委託者の指示する事項については、部品交換及び軽易な修繕を実施しなければならない。なお、必要に応じて運転の応援を求める等をして処理しなければならない。

６　受託者は、家庭又は事業所等より搬入された廃棄物について私物化してはならない。

（修繕等）

第２１条　受託者は、保守点検作業時に発見した不良箇所や故障発生箇所を備付工具、補修原材料等を用い、委託者の承諾を得て修繕しなければならない。ただし、緊急を要する場合は、速やかに適切な措置を講じるとともに、直ちにその状況を委託者に報告し、委託者の指示を受けなければならない。

２　受託者は、業務の履行上、受託者の故意又は過失に起因して、施設、設備等に故障、破損、事故等が発生した場合、受託者は、直ちにその状況を委託者に報告するとともに、すべて受託者の責任において処理しなければならない。

（計量・受入・ごみ処理手数料徴収）

第２２条　受託者は、常に搬入物に注意を払い、計量業務・受入業務・ごみ処理手数料徴収業務は、第１６条の規定に基づき、実施しなければならない。

２　受託者は、予備の機材、部品等の整理整頓に心掛け、適正に保管・管理を行い、貸与された用具類、機器等を紛失した場合は、受託者の責任において補充しなければならない。また、金品の管理においても徴収料金の不一致が発生した場合、受託者の責任において処理しなければならない。

３　受託者は、土・日曜日及び年末年始以外の平日は毎日ごみ処理手数料徴収業務が終わり次第、ごみ処理手数料徴収日報、徴収料金、釣銭を委託者へ提出しなければならない。ただし、委託者が不在の場合は、受託者が責任を持って預からなければならない。

（報告書等）

第２３条　受託者は、別紙3で定める日報、月報、各種報告書等を作成し、指定された期日までに

委託者に提出しなければならない。

（引 継 業 務）

第24条　受託者は、委託者の指示により、委託者又は、委託者の指定する会社に業務を引き継がなければならない。

2　委託者の指示により引継期間を決定する。

3　受託者が、禁止行為等により契約を解除されたときは、委託者が指定する期日まで、受託者が所有する機器及びシステム等を委託者又は、委託者の指定する会社に無料で貸出しするものとする。

第4款　勤務体制

（運転時間等）

第25条　施設の運転時間は次の各号のとおりとする。

（1）ごみ焼却施設

運転は原則として1ヶ月間、24時間1炉運転とする。但し12月以外は5日間程度月末休炉とする。

（2）リサイクル施設

運転は原則として月曜日から金曜日の午前8時10分から午後4時55分まで
とする。

（3）受入・計量・ごみ処理手数料徴収

受入・計量・ごみ処理手数料徴収は、原則として月曜日から金曜日までについては午前8時30分から午後4時まで、及び土・日曜日については正午から午後4時までとする。

但し、5月下旬から7月中旬までについては土・日曜日午前8時30分から正午までは町内清掃に伴って排出された廃棄物のみを受入れることとする。

2　前項各号に掲げるものについて、委託者が必要と認めるときは、その限りではない。

3　年末年始については、委託者の指示に従うものとする。

4　受託者の日勤者及び交替勤務者の勤務時間は、双方協議の上決定するものとする。

（業務従事者の変更）

第26条　受託者は、業務従事者の変更が生じた場合、速やかに変更届出書に有資格者証の写しを添えて委託者に提出しなければならない。

2　受託者は、業務従事者を変更するときは、十分な実務引継ぎ期間をもって交替しなければならない。

（業務従事者の服装）

第27条　業務従事者は、安全、かつ、清潔な統一した服装を着用し、名札等により業務従事者であることを明らかにしなければならない。

2　業務従事者は、作業上義務付けられた安全用具、ヘルメット、防じんマスク、作業服、作業靴（安全靴）等を使用又は、着用しなければならない。

第5款　管理費用範囲

（支給・貸与物件等）

第28条　受託者が業務履行のため必要とする物件等で、委託者が支給及び貸与する物件等は、次の各号のとおりとする。

（1）支給物件

① 電気、水道、ガス（給湯用）

② 施設予備品、補修原材料

（2）貸与物件

① 構内電話設備・拡声設備

② 保守点検用具、備付工具、工作用機器

③ 完成図書（保安規定、竣工図、単体機器検査成績表並びに機器設備・電気設備・計装制御・データ処理設備取扱説明書など竣工図書類）

④ その他、委託者が必要と認めたもの

（3）施設等の使用

①運転管理に必要な各室、事務室、詰所、更衣室等

2　受託者は、貸与された物件等のリストを作成し、委託者に提出しなければならない。

3　委託者は、支給物件の使用状況について、必要に応じて受託者に報告を求めることができる。

4　受託者は、これらの物件等を適正に管理、使用するとともに、効率的、かつ、経済的に使用しなければならない。

5　受託者の故意又は過失に起因して、これらの物件等の紛失、損傷等があった場合は、受託者の責任において物件等を補充し、または原状復旧しなければならない。

（受託者の負担費用等）

第29条　受託者は、次の費用、物件を負担するものとする。

（1）業務従事者の給料、手当、福利厚生費等の人件費

（2）業務従事者に支給する作業服、作業靴、ヘルメット、粉じん対策用化学防護服、防じんマスク、各種安全用具及び生活用具等の物件費

（3）業務に必要な外線電話の設備及び維持費

（4）業務に必要な事務用消耗品、通信運搬費、什器、事務用備品等

（5）計量棟内事務用消耗品、中央制御室内事務用消耗品

（6）委託者が支給又は、貸与する物件以外のその他業務に必要な費用

別紙1

各業務従事者における必要資格等一覧表

1. ごみ焼却施設

職名	必要資格及び条件
統括責任者	＜必要資格＞ ・ごみ処理施設技術管理士 　但し、旧「ごみ処理施設技術管理者」でも可 ・クレーン特別教育修了者 ＜経験年数等＞ ・公共施設のごみ焼却施設運転業務にて施設長以上の責任者の職務で 5 年以上の実務経験を有する者。ただし、その内ストーカー炉の経験を 2 年以上とする。 ・当該施設の専門技術及び実務知識を有し、ごみ処理施設（リサイクル施設を含む）全般に精通している者。 ・委託者と密接な連絡を取り業務を円滑に処理できる者。
整備員	＜必要資格＞ ・クレーン特別教育修了者（全員） ・ガス溶接技能者（1 名以上） ・アーク溶接技能者（1 名以上） ＜経験年数等＞ ・機械等の専門技術及び知識を有し、適正に設備機器の保守点検・整備及び小規模な補修ができる者。 ・整備員として1年以上の実務経験を有する者、又はこれと同等以上の能力があると認められる者。
班長	＜必要資格＞ ・クレーン特別教育修了者（全員） ＜経験年数等＞ ・当該施設専門技術及び知識を有し、適正に設備機器の運転、操作及び保守点検ができる者。 ・班長として 1 年以上の実務経験を有する者、又は、これと同等以上の能力があると認められる者。
運転監視員	＜必要資格＞ ・クレーン特別教育修了者（全員） ＜経験年数等＞

	・適正に当該設備機器の運転、操作及び保守点検・整備等ができる者。 ・運転監視員として1年以上の実務経験を有する者、又は、これと同等以上の能力があると認められる者。

2. リサイクル施設

職名	必要資格及び条件
副統括責任者	＜必要資格＞ ・破砕・リサイクル施設技術管理士 　但し、旧「ごみ処理施設技術管理者」でも可 ・クレーン特別教育修了者 ＜経験年数等＞ ・公共施設のリサイクル施設にて2年以上の実務経験を有する者。 ・副施設長以上の責任者として実務経験を2年以上有する者。 ・リサイクル施設に精通し、適正に設備機器の運転、操作及び保守点検・整備等ができる者。
班長	＜必要資格＞ ・フォークリフト運転技能者 ＜経験年数等＞ ・当該施設専門技術及び知識を有し、適正に設備機器の運転、操作及び保守点検ができる者。 ・班長として1年以上の実務経験を有する者、又は、これと同等以上の能力があると認められる者。
運転監視員	＜必要資格＞ ・ショベルローダー等運転技能者（1名以上） ・フォークリフト運転技能者（1名以上） ＜経験年数等＞ ・適正に当該設備機器の運転、操作及び保守点検・整備等ができる者。 ・運転監視員として1年以上の実務経験を有する者、又は、これと同等以上の能力があると認められる者。
受入・運転作業員	＜必要資格＞ ・ショベルローダー等運転技能者（1名以上） ・フォークリフト運転技能者（1名以上）

	＜経験年数等＞ ・熱海市許可搬入物を熟知し、市民及び搬入業者に対し適切な対応を行うことができる者。 ・搬入物に対する「ごみ処理手数料」を適正に徴収することができる者。

3．作業主任者及び取り扱い責任者等

配置主任者及び取り扱い責任者（選任必要人数）	選　任　範　囲	
	施　設	職名
・酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者（1 名以上）	ごみ焼却施設	班長 または 運転監視員
・産業廃棄物焼却施設技術管理士（1 名以上） ・危険物取扱者（乙種 4 類）（1 名以上） ・特定化学物質等作業主任者（1 名以上）	ごみ焼却施設	業務従事者
・高圧ガス製造保安責任者（3 種冷凍）（1 名以上） ・2 級ボイラー技士（1 名以上） ・第 2 種電気工事士（1 名以上） ・防火管理者（1 名以上）	全　施　設	業務従事者

※3．に掲げた資格は複合資格者を認める。

別紙2

提 出 書 類

提 出 書 類	提 出 期 限	備 考
業務着手届	契約締結日から10日以内	
業務責任者選任届 （業務履歴書を添えること）	契約締結日から10日以内	
資格取得者名簿	統括責任者、副統括責任者、班長について 　契約締結日から10日以内 整備員、運転監視員、受入・運転作業員について 　契約締結日から30日以内	別紙1に示す責任者
作業主任者及び 取り扱い責任者 配置届出	契約締結日から10日以内	別紙1に示す主任者、責任者
業務従事者名簿	契約締結日から30日以内	
非常招集体制表	契約締結日から30日以内	
安全衛生管理組織図	契約締結日から30日以内	
（一部）完了報告書	委託者が指定する期日まで （原則として翌月の5日まで）	月報と合わせて提出
その他委託者が指示する書類	委託者が指定する期日まで	

別紙3

日報･月報･年報及び随時報告書等

1．ごみ焼却施設報告書

提出頻度	報 告 書 名	様　　式
日 報	ごみ焼却施設運転管理日報	焼日様式第1号
	焼却炉運転データリスト	焼日様式第2号
	焼却設備現場日常点検表　夏季	焼日様式第3号
	焼却設備現場日常点検表　冬季	焼日様式第4号
	排ガス設備現場日常点検表	焼日様式第5号
月 報	月焼却予定表	焼月様式第1号
	月勤務予定表	焼月様式第2号
	点検作業予定表	焼月様式第3号
	点検作業予定表／実績表	焼月様式第3号
	薬品等入出庫管理表	焼月様式第4号
	ごみクレーン点検表	焼月様式第5号
	灰クレーン点検表	焼月様式第6号
	地下タンク残油量測定値記録表	焼月様式第7号
年 報	焼却炉運転データリスト年報	焼年様式第1号
	12ヶ月オイル交換	焼年様式第2号
随 時	空気圧縮機点検表	焼随様式第1号
	送風機点検実施表	焼随様式第2号
	ごみ汚水噴霧記録表	焼随様式第3号
	水中ポンプ絶縁抵抗測定表	焼随様式第4号
	清水ポンプ点検実施表	焼随様式第5号
	中水ポンプ場点検表	焼随様式第6号
	非常発電機点検日誌	焼随様式第7号
	固着防止運転実施表	焼随様式第8号
	グリス給油実施表（1ヶ月）	焼随様式第9号
	グリス給油実施表（2ヶ月）	焼随様式第10号
	グリス給油実施表（4ヶ月）	焼随様式第11号
	グリス給油実施表（6ヵ月）	焼随様式第12号
	グリス給油実施表（クレーン2ヶ月）	焼随様式第13号
	光化学オキシダント警報実施表	焼随様式第14号
	停電発生報告書	焼随様式第15号
	修繕依頼書	焼随様式第16号

２．リサイクル施設

提出頻度	報 告 書 名	様　　式
日 報	リサイクル施設運転管理日誌	リ日様式第1号
	リサイクル施設連動運転記録表	リ日様式第2号
	計量記録日報	リ日様式第3号
	ごみ手数料徴収日報	リ日様式第4号
月 報	点検作業予定表／実績表	リ月様式第1号
	リサイクル関連施設点検等報告書	リ月様式第2号
	リサイクル施設運転月報	リ月様式第3号
	リサイクル施設給排水バルブ等保守点検表	リ月様式第4号
	リサイクル施設保守点検表（毎日）	リ月様式第5号
	リサイクルプラザ計器等点検月報	リ月様式第6号
	リサイクル設備潤滑油等補充・交換記録表	リ月様式第7号
	リサイクル施設潤滑油補充記録表	リ月様式第8号
	灯油使用台帳	リ月様式第9号
年 報	リサイクル施設運転実績	リ年様式第1号
	リサイクル施設保守点検表（毎月・隔月）	リ年様式第2号
	リサイクル施設潤滑油交換台帳	リ年様式年3号
	温水洗浄機保守・定期点検表	リ年様式年4号
	リサイクル施設ホイスト保守点検表	リ年様式年5号
随 時	圧力容器自主検査点検表	リ随様式第1号

※リサイクル施設において修繕依頼がある場合は、焼随様式第16号を使用するものとする。

第2節　ごみ・灰クレーン保守点検業務仕様書

1. 保守点検対象機器

1）機器名称及び数量

（1） ごみクレーン　2基

（2） 灰クレーン　1基

（3） 自動制御盤、操作盤その他付属設備　1式

2）機器仕様

（1）ごみクレーン

①メーカー	（株）天満電機産業
②形　式	クラブバケット付天井走行クレーン
③数　量	2基
④吊上荷重	3.9t （以下1基当たり）
⑤定格荷重	2.0t
⑥バケット形式	フォーク型（油圧開閉式）
⑦バケットつかみ量	4.0m^3（切取容量）
⑧径　間	17.0m
⑨揚　程	16.7m
⑩横行距離	13.75m
⑪走行距離	18.8m
⑫電 動 機	下記電動機仕様のとおり

電動機仕様

動 作	速 度	電 動 機		ブレーキ	速度制限
	m/min	KW-P	%ED		
巻上/下	50	45-8	60	電磁ディスクブレーキ	サイリスタ制御
開／閉	7.0/9.0sec	11-4	連続		
横 行	40	2.2-4	連続	電磁ディスクブレーキ	インバータ制御
走 行	30	2.2-4×2	連続	電磁ディスクブレーキ	インバータ制御

⑬稼 動 率	31%以下（基準ごみ質時）
⑭使用電源	400V（公称電圧）
⑮操作方法	全自動、半自動運転、手動運転（但し1台運転とする。）
⑯給電方式	キャブタイヤケーブル給電方式
⑰投入量計量装置	

形　式　　　　ロードセル式
表　示　　　　デジタル式
印字項目　　　自動印字（年月日、炉番号、クレーン番号、投入回数、投入重量、炉別合計重量、クレーン別合計重量、合計重量）

⑱主要機器

クレーン本体	2 基
バ ケ ッ ト	2 基
走行レール	1 式
遠隔および手動・半自動制御装置	1 式
計 量 装 置	1 式
定位置表示装置（ホッパセンター表示）	1 式
安 全 装 置	1 式
照 明 装 置	1 式
警 報 装 置	1 式

（2）灰クレーン

①メーカー	（株）天満電機産業
②形　式	クラブバケット付天井走行クレーン
③数　量	1 基
④吊上荷重	2.5t
⑤定格荷重	1.0t
⑥バケット形式	クラムシェル型（油圧開閉式）
⑦バケットつかみ量	$1.0m^3$（切取容量）
⑧径　間	3.1m
⑨揚　程	14.9m
⑩横行距離	0.95m
⑪走行距離	12.65m
⑫電 動 機	下記電動機仕様のとおり

電動機仕様

動 作	速 度	電 動 機		ブレーキ	速度制限
	m/min	KW-P	%ED		
巻上/下	30	18.5-6	60	電磁ディスクブレーキ	二次抵抗制御
開／閉	7.5/11sec	7.5-4	連続		
横 行	10	0.4-4×2	連続	電磁ディスクブレーキ	インバータ制御
走 行	30	0.75-4×2	連続	電磁ディスクブレーキ	インバータ制御

⑬稼 動 率　　　7.7%以下（基準ごみ質時）

⑭使用電源　　　400V（公称電圧）

⑮操作方法　　　半自動運転、手動運転

⑯給電方式　　　キャブタイヤケーブル給電方式

⑰投入量計量装置

形　式　　ロードセル式

表　示　　デジタル式

印字項目　　自動印字（年月日、投入回数、積込重量、積込合計重量）

⑱主要機器

クレーン本体	1 基
バ ケ ッ ト	1 基
走行レール	1 式
遠隔および手動・半自動制御装置	1 式
計 量 装 置	1 式
定位置表示装置（灰出しセンター表示）	1 式
安 全 装 置	1 式
照 明 装 置	1 式
警 報 装 置	1 式

2．保守点検

保守管理のための定期検査は労働安全衛生法によるクレーン等安全規則に基づき下記の通り行うこと。

1）月例点検

クレーン等安全規則第３５条に準じて月１回行うこと。ただし、第３４条関係の点検を行った月で第３５条関係と同様な点検を行った場合にはその月の分は除外すること。

2）年次点検

クレーン等安全規則第３４条に準じて年１回行うこと。

3）委託者が保守管理上必要と認め指示する点検手入れ。

3．点検報告

月例点検、年次点検作業後、委託者の承諾を受けた点検結果表に基づき点検報告書を提出すること。（部数2部）

4．点検時期

委託者の指示により点検を実施する。

５．遵守事項

１）主任者選任

（１）主任者を定め作業の指揮監督にあたらせること。

（２）受託者は主任者を選任した時は受託者の書式により委託者へ届け出ること。

２）安全確保

作業の実施にあたっては受託者が事故防止に十分注意し、事故が発生した場合は一切の責任を負うこと。

３）作業時の服装

作業服は常に清潔な制服を着用し、胸部に名札をつけること。

６．作業等の注意事項

１）作業の実施にあたり、必ず委託者の指示を受けること。

２）作業の実施にあたり、受託者が備品・器具等を破損し又は破損箇所を発見した場合は、直ちに委託者に報告し指示を受けること。

３）盗難及び火災の発生に注意し作業が終了した時は、戸締り及び火気処理を確認すること。作業員は品位を保ち職員等に対して、不快感を与えるような言動をしないこと。

７．諸材料その他

１）保守点検業務に伴い必要となる光熱水費は、委託者が負担すること。

２）業務上必要となる諸材料については、受託者が負担すること。

３）保守点検業務により排出された塵芥等の搬出処理は、委託者の指定する場所にて受託者が行うこと。

第3節　焼却炉内清掃点検業務仕様書

１．業務対象機器（1，２号炉共）

１）焼却炉内　　　　　　　１基

２）ガス冷却塔内　　　　　１基

３）灰押出機内　　　　　　１基

２．清掃点検業務

１）それぞれ１基に対して4回／年（約3ヶ月毎）に清掃点検を行うこととする。

２）年間清掃・点検予定表を作成し、委託者へ提出すること。

３）清掃業務

（１）焼却炉内の火格子・炉壁・燃焼完結装置の灰出し・クリンカの除去及び不燃物の除去・清掃。火格子溶着物の除去。

（２）ガス冷却塔のホッパー部（GAH のホッパー部も含む。）のクリンカ及び堆積物の除去・清掃

（３）灰押出機内（裏部も含む。）の水抜き、不燃物の除去・清掃

（４）（１）、（２）においては足場を有さず、手の届く範囲を清掃範囲とする

（５）排出された灰・クリンカ・不燃物（金属類等）は指定の場所へ分別をし、委託者の指定する場所へ排出・保管すること。

（６）その他必要な業務

４）点検業務

（１）焼却炉内の火格子・炉壁・燃焼完結装置及び目視における炉内上部の剥離や劣化状況の点検、火格子稼動による作動試験

（２）ガス冷却塔のホッパー部（GAH のホッパー部も含む。）及び目視における上部の剥離や劣化状況の点検

（３）灰押出機内（裏部も含む）の腐食状況及び機器の破損・劣化状況の点検、灰押出機稼働による作動試験

３．清掃点検報告

１）受託者の指定の書式により、各機器・設備の状況が分かるようまとめた報告書を作成し、提出すること。

２）１）の報告書には、補修が必要な箇所をまとめること。

４．安全衛生

受託者は、業務に関する運転及び点検整備は、労働安全衛生法、ダイオキシン類対策特別措置法及び、ダイオキシン類対策特別措置法施行令等の関係諸法令に基づき業務従事者の安全と健康を確保するよう努めるとともに、特に次の作業については、十分安全に留意しな

ければならない。

1）酸素欠乏及び有害ガス発生場所における作業

2）高所作業

3）高温、高圧作業

4）粉じん等の発生場所における作業

5）ダイオキシン類ばく露作業

6）回転機器の取扱い作業

5．業務主任者及び業務従事者

受託者は、業務を適正に履行する為に必要な業務従事者を配置し、作業従事者の中から、業務主任者を選任しなければならない。

1）必要資格

（1）業務主任者

①ごみ処理施設技術管理士

②ダイオキシン類ばく露防止特別教育受講者

（2）業務従事者

①ダイオキシン類ばく露防止特別教育受講者

2）経験年数等（業務主任者のみ）

（1）当該施設の専門技術及び実務知識を有し、ごみ処理施設全般に精通している者。

（2）委託者と密接な連絡を取り業務を円滑に処理できる者。

（3）ごみ焼却施設の運転管理又は、工事の現場代理人としての経験年数が5年以上の経験を有する者。

6．遵守事項

1）業務主任者選任

（1）業務主任者を定め作業の指揮監督にあたらせること。

（2）受託者は業務主任者を選任した時は受託者の書式により委託者へ届け出ること。

2）業務従事者

ダイオキシン類ばく露防止特別教育受講者を選任・配置し、作業従事者名簿を提出すること。

3）安全確保

作業の実施にあたっては受託者が事故防止に十分注意し事故が発生した場合は一切の責任を負うこと。

４）作業時の服装

作業服は常に清潔な制服を着用し胸部に名札をつけること。

７．作業等の注意事項

１）作業の実施にあたり、必ず委託者の指示を受けること。

２）作業の実施にあたり、受託者が備品・器具等を破損し又は破損箇所を発見した場合は直ちに委託者に報告し指示を受けること。

３）盗難及び火災の発生に注意し作業が終了した時は、戸締り及び火気処理を確認すること。作業員は品位を保ち職員等に対して、不快感を与えるような言動をしないこと。

８．諸材料その他

１）保守点検業務に伴い必要となる光熱水費は、委託者が負担すること。

２）業務上必要となる諸材料については、受託者が負担すること。

３）保守点検業務により排出された塵芥等の搬出処理は、委託者の指定する場所にて受託者が行うこと。

第2章 建築設備関係点検業務

第1節　施設内清掃業務委託仕様書

1. 業務内容

1）施設内各箇所日常清掃

（1）トイレ　　　・・・大便器、小便器の清掃、床面・流しの水洗い

（2）その他の場所・・・モップがけ及び箒・掃除機による清掃

2）施設内各箇所定期清掃（ワックスがけ）・・・1 回／年

3）毎月業務様式第 1 号に清掃実績を記入し、委託者に提出すること。

2. 清掃箇所及び清掃頻度一覧

		面積（㎡）	日常清掃		定期清掃（ﾜｯｸｽがけ）
			週 1 回	週 2 回	
1F	正面玄関	109.30	○		○
	玄関ホール		○		○
	階段		○		○
	エレベーター		○		○
	見学者ホール	195.20	○		○
	職員玄関		○		○
	男子トイレ			○	
	女子トイレ			○	
	身障者トイレ			○	
	エレベーター		○		○
	階段		○		○
	プラットホームトイレ			○	
	駐車場				
	搬入路等構内				
2F	見学者ホール	123.87	○		○
	階段		○		○
	ホール	67.20	○		○
	階段		○		○
3F	大会議室	612.00	○		
	小会議室		○		
	見学ホール		○		
	男子トイレ			○	
	女子トイレ			○	

		面積（㎡）	日常清掃		定期清掃
			週１回	週２回	（ﾜｯｸｽがけ）
３F	身障者トイレ			○	
	階段		○		○
	廊下		○		○
	湯沸し室	182.95		○	○
	浴室			○	
	脱衣室			○	
	男子トイレ			○	
	女子トイレ			○	
	階段		○		○
４F	ホール	100.00	○		
	階段		○		
	湯沸し室	218.15	○		○
	浴室			○	○
	脱衣室			○	○
	男子トイレ			○	
	廊下		○		○
	階段		○		○
合計		1608.67			

３．遵守事項

１）業務主任者選任

（１）作業を円滑に行うため業務主任者を定め、作業の指揮監督にあたらせること。

（２）受託者は業務主任者を選任した時は、受託者の書式により委託者へ届け出ること。

２）安全確保

作業の実施にあたっては、受託者が事故防止に十分注意し事故が発生した場合は一切の責任を負うこと。

３）作業時の服装

作業服は常に清潔な制服を着用し、胸部に名札をつけること。

４．作業等の注意事項

１）作業の実施にあたり、必ず委託者の指示を受けること。

２）作業の実施にあたり、受託者が備品・器具等を破損し又は破損箇所を発見した場合は直ちに委託者に報告し指示を受けること。

３）盗難及び火災の発生に注意し作業が終了した時は、戸締り及び火気処理を確認すること。作業員は品位を保ち職員等に対して、不快感を与えるような言動をしないこと。

５．諸材料その他

１）保守点検業務に伴い必要となる光熱水費は、委託者が負担すること。

２）業務上必要となる諸材料については、受託者が負担すること。

３）保守点検業務により排出された塵芥等の搬出処理は、委託者の指定する場所にて受託者が行うこと。

第2節　エレベーター保守点検業務仕様書

１．保守点検対象機器

１）機器名称及び数量

（1）　昇降機　　　　　　　　　　　2 基

（2）　停電時自動着床装置　　　　　2 台

（3）　地震時管制運転装置　　　　　2 台

２）機器仕様

（1）昇降機

①メーカー　　　　　　　三菱電機株式会社

②機　　種　　　　　　　グランディ（油圧間接）

③数　　量　　　　　　　2 基

④停止（非停止）階床数　　　4（0）

⑤速　　度　　　　　　　60m／min

⑥用　　途　　　　　　　人荷用

⑦積載質量　　　　　　　600kg

２．業務内容

保守管理のための定期検査は建築基準法第 12 条に基づき下記の通り行うこと。

１）点検・手入れ保全

（1）定期に計画的な点検・手入れ保全（給油・調整・清掃等）を実施すること。

（2）点検・手入れ保全の箇所・機器・内容は、業務別紙 1 のとおり実施すること。

（3）点検・手入れ保全を行った際は、エレベーター作業報告書を提出すること。

２）リモート点検

（1）対象設備の運行状態を常時記録し、その記録を収集して、定期的に対象設備を構成する機器及び運転機能を点検すること。点検する項目・内容は、業務別紙 2 のとおり実施すること。

（2）（1）の点検対象の項目・内容について変調状態が生じたときは、状態を確認し、必要に応じて現場で作業を行うこと。

（3）対象設備の運行状態のデータに基づく点検結果及び変調状態に対する処理の結果については、毎月エレベーターリモート点検報告書を提出すること。

（4）対象設備の運行状況をエレベーター利用状況報告書を定期的に提出すること。

３）異常監視・直接通話

（1）対象設備について次の異常が発生したときは、リモート点検装置から異常通報

に基づき、適切な処置をとること。
①閉じ込め故障
②使用不能故障（運行に支障がある状態。）
③着床不良
④戸開閉不良
⑤制御盤停電
⑥リモート点検装置（MOP盤）停電
⑦制御関連機器温度異常
なお、閉じ込め故障の場合を除き、ビル停電等により⑤、⑥が同時に発生した場合は異常通報が行われない。

（2）対象設備に次の故障が発生したときは、対象設備かご内のインターホンにより、同かご内の乗客と受託者の受信専門員が直接通話し、必要な指示・連絡等にあたること。

（3）異常通報に基づく処理の結果については、エレベーターリモート点検報告書にて報告すること。また、異常通報に基づく処置のために現場で作業を行った場合は、その作業に応じて、エレベーター作業報告書又は故障修理作業報告書を提出すること。

4）消耗品の供給

（1）作業に必要な部品のうち、消耗部品（通常の使用による磨耗・劣化により、補完・交換を頻繁に行う小部品・油脂類等）を供給すること。

（2）消耗部品の範囲は業務別紙 3 のとおりとする。

5）品質検査

1 年に 1 回、対象設備の総合的な機能を確認する検査を行うこと。品質検査の結果については、定期検査報告書にて提出すること。

6）緊急時の対応

委託者から、対象設備について故障等の緊急事態が発生した旨の通報を受けた場合には、速やかに、対象設備の運行状況を確認するとともに事態に応じた適切な処置をとること。この処置の結果については、エレベーター作業報告書又は故障修理報告書を提出すること。

7）法令に基づく検査の立会

（1）建築基準法第 12 条又は労働安全衛生法第 41 条に基づく法定検査の立会いを行うこと。

（2）受託者は、委託者から法定検査及び法定検査受検諸事項の実施を依頼されたときは責任を持って実施し、結果を特定行政庁へ報告すること。

３．安全確保

作業の実施にあたっては受託者が事故防止に十分注意し事故が発生した場合は、一切の責任を負うこと。

４．作業時の服装

作業服は常に清潔な制服を着用し、胸部に名札をつけること。

５．作業等の注意事項

１）作業の実施にあたり、必ず委託者の指示を受けること。

２）作業の実施にあたり、受託者が備品・器具等を破損し又は破損箇所を発見した場合は直ちに委託者に報告し指示を受けること。

３）盗難及び火災の発生に注意し作業が終了した時は、戸締り及び火気処理を確認すること。作業員は品位を保ち職員等に対して、不快感を与えるような言動をしないこと。

６．諸材料その他

保守点検業務に伴い必要となる光熱水費は、委託者が負担すること。

第3節　冷暖房空調設備保守点検業務仕様書

1．保守点検対象機器

1）機器名称及び数量

冷暖房空調設備

（1）	冷却式チリングユニット（C－1）	1 基
（2）	冷水ポンプ（CP－1）	1 基
（3）	温水一次ポンプ（HP－1）	1 基
（4）	暖房用温水二次ポンプ（HP－2）	1 基
（5）	乾燥室温水二次ポンプ（HP－4）	1 基
（6）	温水二次ポンプ（HP－5）	1 基
（7）	エアハンドリングユニット	1 基
（8）	空冷ヒートポンプパッケージエアコン（室内機 4 台）	1 組
（9）	空冷ヒートポンプパッケージエアコン（天吊）	4 組
（10）	空冷ヒートポンプパッケージエアコン（屋内機 2 台）	1 組
（11）	空冷ヒートポンプパッケージエアコン（天かせ）	1 組
（12）	空冷ヒートポンプパッケージエアコン（床置き）	1 組
（13）	空冷ヒートポンプパッケージエアコン（天埋め）	1 組
（14）	ファンコイルユニット	51 台
（15）	冷温水熱源設備	1 系統

空調自動制御盤機器

（1）	空調熱源制御系統	1 系統
（2）	温水ヒーター監視制御系統	1 系統
（3）	オイルサービスタンク制御系統	1 系統
（4）	外調機制御系統	1 系統
（5）	ファンコイルユニット制御系統	1 系統
（6）	ポンプ発停制御系統	1 系統
（7）	受水槽制御系統	1 系統
（8）	水槽水位監視制御系統	1 系統
（9）	貯湯槽制御系統	1 系統
（10）	ファン発停制御系統	1 系統
（11）	熱源温水制御系統	1 系統
（12）	中央監視制御系統	1 系統

2）点検頻度

冷暖房空調設備

（1） 冷却式チリングユニット（C－1） 1 回/年（冷房切替時）
（2） 冷水ポンプ（CP－1） 1 回/年（ 〃 ）
（3） 温水一次ポンプ（HP－1） 1 回/年（暖房切替時）
（4） 暖房用温水二次ポンプ（HP－2） 1 回/年（ 〃 ）
（5） 乾燥室温水二次ポンプ（HP－4） 1 回/年（ 〃 ）
（6） 温水二次ポンプ（HP－5） 1 回/年（ 〃 ）
（7） エアハンドリングユニット 1 回/年（冷房切替時）
（8） 空冷ヒートポンプパッケージエアコン（室内機 4 台）1 回/年（ 〃 ）
（9） 空冷ヒートポンプパッケージエアコン（天吊） 1 回/年（ 〃 ）
（10） 空冷ヒートポンプパッケージエアコン（屋内機 2 台）1 回/年（ 〃 ）
（11） 空冷ヒートポンプパッケージエアコン（天かせ） 1 回/年（ 〃 ）
（12） 空冷ヒートポンプパッケージエアコン（床置き） 1 回/年（ 〃 ）
（13） 空冷ヒートポンプパッケージエアコン（天埋め） 1 回/年（ 〃 ）
（14） ファンコイルユニット 4 回ﾌｨﾙﾀｰ清掃／年
（15） 冷温水熱源設備 2 回/年（冷暖房切替）

空調自動制御盤機器

（1） 空調熱源制御系統 2 回/年（冷暖房切替時）
（2） 温水ヒーター監視制御系統 1 回/年（冷房切替時）
（3） オイルサービスタンク制御系統 1 回/年（ 〃 ）
（4） 外調機制御系統 2 回/年（冷暖房切替時）
（5） ファンコイルユニット制御系統 2 回/年（ 〃 ）
（6） ポンプ発停制御系統 1 回/年（冷房切替時）
（7） 受水槽制御系統 1 回/年（ 〃 ）
（8） 水槽水位監視制御系統 1 回/年（ 〃 ）
（9） 貯湯槽制御系統 1 回/年（ 〃 ）
（10） ファン発停制御系統 1 回/年（ 〃 ）
（11） 熱源温水制御系統 1 回/年（ 〃 ）
（12） 中央監視制御系統 1 回/年（ 〃 ）

3）機器仕様

業務別紙 4、5 を参照とする。

2．保守点検内容

1）冷却式チリングユニット・ポンプ類・エアハンドリングユニット・空冷ヒートポンプ・パッケ

ージエアコンの外観点検・機能点検を行うこと。

２）空冷ヒートポンプパッケージエアコン・ファンコイルユニットのフィルター清掃を行うこと。

３）冷温水熱源設備の冷暖房切替えを行うこと。

４）空調自動制御盤機器の総合点検整備を行うこと。

５）空調自動制御盤機器の冷暖房切替えを行うこと。

６）その他委託者が保守管理上必要と認め指示する点検手入れ。

※保守点検詳細については業務別紙 4、5 を参照とする。

３．保守点検報告

業務別紙 4,5 に基づき提出すること。

４．点検時期

委託者の指示により点検を実施する。

５．遵守事項

１）業務主任者選任

（１）作業を円滑に行うため、業務主任者を定め作業の指揮監督にあたらせること。

（２）受託者は業務主任者を選任した時は、受託者の書式により委託者へ届け出ること。

２）安全確保

受託者は、作業の実施にあたり、受託者が事故防止に十分注意し事故が発生した場合は、一切の責任を負うこと。

３）作業時の服装

作業服は常に清潔な制服を着用し、胸部に名札をつけること。

６．作業等の注意事項

１）作業の実施にあたり、必ず委託者の指示を受けること。

２）作業の実施にあたり、受託者が備品・器具等を破損し又は破損箇所を発見した場合は、直ちに委託者に報告し指示を受けること。

３）盗難及び火災の発生に注意し、作業が終了した時は戸締り及び火気処理を確認すること。作業員は品位を保ち職員等に対して不快感を与えるような言動をしないこと。

７．諸材料その他

１）保守点検業務に伴い必要となる光熱水費は、委託者が負担すること。

２）業務上必要となる諸材料については、受託者が負担すること。

第４節　貯水槽等清掃及び点検業務仕様書

１．清掃及び点検対象機器

１）機器名称及び数量

（１）	貯水槽（Tー１）	１基
（２）	給水加圧ポンプ（PUー１）	１基
（３）	温水ヒーター（BHー１）	１基
（４）	貯湯槽（HSTー１）	１基
（５）	温水タンク（空調用　HTー１）	１基
（６）	膨張タンク（給湯用）	１基
（７）	膨張タンク（空調用）	１基

２）点検頻度

（１）	貯水槽（Tー１）	１回／年	
（２）	給水加圧ポンプ（PUー１）	１回／年	
（３）	温水ヒーター（BHー１）	定期点検	２回／年
		オーバーホール	１回／年
（４）	貯湯槽（HTー１）	１回／年	
（５）	温水タンク（空調用）	１回／年	
（６）	膨張タンク（給湯用）	１回／年	
（７）	膨張タンク（空調用）	１回／年	

３）機器仕様

業務別紙 6 を参照とする。

２．保守点検内容

※業務別紙 6 を参照とする。

※槽及びタンクは基本作業として、清掃・消毒・点検を行うこと。

３．保守点検報告

保守点検作業後、業務別紙 6 に基づき提出すること。

４．点検時期

委託者の指示により点検を実施する。

５．遵守事項

１）安全確保

受託者は、作業の実施にあたっては、受託者が事故防止に十分注意し事故が発生した場合は、一切の責任を負うこと。

2）作業時の服装

作業服は常に清潔な制服を着用し、胸部に名札をつけること。

3）事前提出書類

（1）業務従事者の赤痢菌・サルモネラ菌試験検査成績書（写し可）

（2）業務従事者の建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行規則第 28 条第 4 号イの規定により厚生労働大臣の登録を受けたことを証明するもの（写し可）

（3）建築物飲料水貯水槽清掃業登録証明書（写し可）

6．作業等の注意事項

1）作業の実施にあたり、必ず委託者の指示を受けること。

2）作業の実施にあたり、受託者が備品・器具等を破損し又は破損箇所を発見した場合は、直ちに委託者に報告し指示を受けること。

3）盗難及び火災の発生に注意し作業が終了した時は、戸締り及び火気処理を確認すること。作業員は品位を保ち職員等に対して不快感を与えるような言動をしないこと。

7．諸材料その他

1）保守点検業務に伴い必要となる光熱水費は、委託者が負担すること。

2）業務上必要となる諸材料については、受託者が負担すること。

第5節　電動シャッター点検整備業務仕様書

１．業務内容

業務内容及び結果報告は、社団法人　日本シヤッター・ドア協会（旧日本シヤッター工業会）の点検報告書様式に準ずるものとする。

２．点検箇所

日本文明シャッター㈱製

番号	点検箇所	寸法（W／H）	数量
①	工作室	2,930/2,430	1 面
②	灰積出室	3,540/4,000	1 面
③	リサイクル施設	3,210/4,000	1 面
④	リサイクル施設	5,450/4,000	1 面
⑤	リサイクル施設	4,540/4,000	1 面
⑥	汚泥受入室	3,300/4,600	1 面
⑦	汚泥装置室	4,000/3,450	1 面
計			7 面

３．遵守事項

1）業務主任者選任

（1）作業を円滑に行うため業務主任者を定め、作業の指揮監督にあたらせること。

（2）受託者は業務主任者を選任した時は、受託者の書式により委託者へ届け出ること。

2）安全確保

受託者は、作業の実施にあたっては、受託者が事故防止に十分注意し事故が発生した場合は一切の責任を負うこと。

3）作業時の服装

作業服は常に清潔な制服を着用し、胸部に名札をつけること。

４．作業等の注意事項

1）作業の実施にあたり、必ず委託者の指示を受けること。

2）作業の実施にあたり、受託者が備品・器具等を破損し又は破損箇所を発見した場合は直ちに委託者に報告し指示を受けること。

3）盗難及び火災の発生に注意し作業が終了した時は、戸締り及び火気処理を確認すること。作業員は品位を保ち職員等に対して不快感を与えるような言動をしないこと。

５．諸材料その他

１）保守点検業務に伴い必要となる光熱水費は、委託者が負担すること。

２）業務上必要となる諸材料については、受託者が負担すること。

３）保守点検業務により排出された塵芥等の搬出処理は、委託者の指定する場所にて受託者が行うこと。

第6節　ホイスト式クレーン点検業務仕様書

１．業務内容

本業務はクレーン等安全規則第３４条に基づく定期自主検査（年次点検）を行うものとする。

２．点検箇所

東洋ﾎｲｽﾄ㈱製

番号	点検箇所	設置階数	吊上げ過重
1	粗大ごみ受入ｺﾝﾍﾞﾔ不適物除去用ﾎｲｽﾄ	1F	0.5t
2	可燃性粗大ごみダンﾋﾟﾝｸﾞﾎﾞｯｸｽ不適物除去用ﾎｲｽﾄ	1F	0.5t
3	缶ﾌﾟﾚｽ機用成形品搬送用ﾎｲｽﾄ	1F	0.5t
4	鉄ﾌﾟﾚｽ機用成形品搬送用ﾎｲｽﾄ	1F	0.5t
5	不適物荷下用ﾎｲｽﾄ	3F	0.5t
6	衝撃せん断回転式破砕機保全用ﾎｲｽﾄ	3F	2.0t
7	ﾒﾝﾃﾅﾝｽ用ﾎｲｽﾄ	3F	0.5t
8	ﾒﾝﾃﾅﾝｽ用ﾎｲｽﾄ（工作室）2 台	1F	0.5t
9	ﾒﾝﾃﾅﾝｽ用ﾎｲｽﾄ（減温塔）	4F	1.0t
10	ﾒﾝﾃﾅﾝｽ用ﾎｲｽﾄ（集じん器）	4F	1.0t

３．遵守事項

１）業務主任者選任

（１）作業を円滑に行うため、業務主任者を定め作業の指揮監督にあたらせること。

（２）受託者は業務主任者を選任した時は、受託者の書式により委託者へ届け出ること。

２）安全確保

受託者は、作業の実施にあたっては、受託者が事故防止に十分注意し事故が発生した場合は一切の責任を負うこと。

３）作業時の服装

作業服は常に清潔な制服を着用し、胸部に名札をつけること。

４．作業等の注意事項

１）作業の実施にあたり、必ず委託者の指示を受けること。

２）作業の実施にあたり、受託者が備品・器具等を破損し又は破損箇所を発見した場合は、直ちに委託者に報告し指示を受けること。

３）盗難及び火災の発生に注意し作業が終了した時は、戸締り及び火気処理を確認する

こと。作業員は品位を保ち職員等に対して不快感を与えるような言動をしないこと。

５．諸材料その他

１）保守点検業務に伴い必要となる光熱水費は、委託者が負担すること。

２）業務上必要となる諸材料については、受託者が負担すること。

３）保守点検業務により排出された塵芥等の搬出処理は、委託者の指定する場所にて受託者が行うこと。

第7節　消防用設備点検業務仕様書

1. 点検対象機器及び点検概要

消防法及びその他の法律等に基づき以下の点検を行うものとする。

1）消火器具

設備名称	設備仕様	台数	設備点検項目	備考
消火器	粉末消火器(加圧式)10 型	56本	1.外観点検 1)設置状況 2)表示 3)薬剤の漏れ点検 4)安全装置の点検 5)外観変形、損傷、腐食の確認	1.外観点検 6ヶ月/1回
			2.機能点検 1)容器本体、内筒点検 2)消化剤 3)押し金具 4)封板、パッキンの点検	2.機能点検 設置後 3年以降実施 抜取点検

2）屋内・外消火栓設備

設備名称	設備仕様	台数	設備点検項目	備考
屋内・外消火栓設備	・屋内消火栓ポンプユニット (FP−1) 65Φ*300ℓ/min*53m*7.5kW *400V ・操作盤 ・呼水装置 ・消火水槽 5.2 ㎥ ・消火用補給水槽(ET−1) 1 ㎥ ・消火栓箱 2号消火栓 ・常用電源	1台 1面 1式 1基 1基 25台 1式	1.外観点検 1)水源 2)電動機制御装置 3)起動装置 4)加圧送水装置 5)呼水装置 6)配管 7)消火栓箱	1.外観点検 6ヶ月/回
			2.機能点検 外観点検と同項目	2.機能点検 6ヶ月/回
			3.総合点検 1)起動性能 2)放水圧力 3)放水量	3.総合点検 1年/1回

3）泡消火設備

設備名称	設備仕様	台数	設備点検項目	備考
泡消火設備	・泡消火ﾎﾟﾝﾌﾟﾕﾆｯﾄ(FP−2) 100Φ*840ℓ/min*76m* 18.5kW*400V ・泡消火薬剤タンク(FT−1) 400ℓ	1 台	1.外観点検 1)水源 2)電動機制御装置 3)起動装置 4)加圧送水装置	1.外観点検 6 ヶ月/回
	・消火水槽　10.1 ㎥	1 基	5)呼水装置	
	・自動起動装置	1 式	6)配管	
	・自動警報弁	1 基	7)泡消化剤貯蔵槽	
	・ポンプ操作盤	1 面	8)泡消化剤混合装置	
	・流水検知装置	22 基	9)ﾍｯﾄﾞ	
	・一斉開放弁	22 台	10)自動警報弁	
	・手動開放弁	22 個	11)流水検知装置	
	・泡ﾍｯﾄﾞ	263 個	2.機能点検	2.機能点検
	・スプリンクラーﾍｯﾄﾞ	102 個	外観点検と同項目	6 ヶ月/回
	・圧力スイッチ	1 台	3.総合点検	3.総合点検
	・呼水装置	1 式	1)起動性能	1 年/1 回
			2)一斉開放弁	
			3)分布等	

※泡消火設備において実運転（泡消火剤開放試験）は行わないこととする

4）自動火災報知設備

項目	数量	外観・機能点検 （6 ヶ月/回）	総合点検 （外観・機能含む） （1 年/回）	備考
P型自動火災報知設備				
受信機 P 型 1 級　40 回線	1 面	○	○	
副受信機 P 型　　60 回線	1 面	○	○	
差動式分布型熱感知器	95 個	○	○	
差動式ｽﾎﾟｯﾄ型熱感知器	6 個	○	○	
定温式ｽﾎﾟｯﾄ型熱感知器	13 個	○	○	
煙感知器 （光電式・ﾍﾟｱｱﾗｰﾑ含む）	118 個	○	○	
発信機 P 型 1 級	26 個	○	○	

項目	数量	外観・機能点検 （6ヶ月/回）	総合点検 （外観・機能含む） （1年/回）	備考
音響装置（電鈴）	27個	○	○	
表示灯	27個	○	○	
消火栓起動連動装置	1式	○	○	
配線点検（絶縁測定）	1式		○	
非常用発電機(150KVA)	1式	○	○	

5）誘導灯及び誘導標識

項目	数量	外観・機能点検 （6ヶ月/回）	総合点検 （外観・機能含む） （1年/回）	備考
誘導灯（小型・中型）	50台	○	○	
配線点検（絶縁測定）	1式		○	

6）防火・排煙設備

項目	数量	外観・機能点検 （6ヶ月/回）	総合点検 （外観・機能含む） （1年/回）	備考
P型防排煙制御設備				
連動操作盤　10回線	1面	○	○	
熱感知器（定温式）	6個	○	○	
ダンパー	3台	○	○	
シャッター	2台	○	○	
音響装置（ブザー）	2個	○	○	
配線点検（絶縁測定）	1式		○	

7）非常用照明

項目	数量	外観・機能点検 （6ヶ月/回）	総合点検 （外観・機能含む） （1年/回）	備考
非常用照明（一般）	116台	○	○	
非常用照明（ハロゲン球）	68台	○	○	
配線点検（絶縁測定）	1式		○	

２．点検報告

１）機器点検及び総合点検作業後、法令で定められた点検結果表に基づき提出すること。

２）消防法で定められた点検報告が必要な年度においては、熱海市消防本部へ点検結果を提出・報告すること。

３．遵守事項

１）業務主任者選任

（１）作業を円滑に行うため、業務主任者を定め作業の指揮監督にあたらせること。

（２）受託者は、業務主任者を選任した時は、受託者の書式により委託者へ届け出ること。

２）安全確保

受託者は、作業の実施にあたっては、受託者が事故防止に十分注意し事故が発生した場合は、一切の責任を負うこと。

３）作業時の服装

作業服は常に清潔な制服を着用し、胸部に名札をつけること。

４．作業等の注意事項

１）作業の実施にあたり、必ず委託者の指示を受けること。

２）作業の実施にあたり、受託者が備品・器具等を破損し又は破損箇所を発見した場合は直ちに委託者に報告し指示を受けること。

３）盗難及び火災の発生に注意し作業が終了した時は、戸締り及び火気処理を確認すること。

４）作業員は品位を保ち職員等に対して不快感を与えるような言動をしないこと。

５．諸材料その他

１）保守点検業務に伴い必要となる光熱水費は、委託者が負担すること。

２）業務上必要となる諸材料については、受託者が負担すること。

３）保守点検業務により排出された塵芥等の搬出処理は、委託者の指定する場所にて受託者が行うこと。

第3章 電気設備関係点検業務

第1節 電気設備保安管理点検業務仕様書

1．施設概要

1）契約電力　　6000V　1200kW

2）非常用発電機　　420V　120kW

2．保守点検対象機器

1）変圧器容量及び台数

（1）1号炉共通動力（750kVA）　1台

（2）2号炉共通動力（750kVA）　1台

（3）建築動力（500kVA）　1台

（4）照明（150kVA）　1台

（5）リサイクルプラザ動力（500kVA）　1台

2）盤面

（1）高圧受電盤

（2）1号炉動力変圧器一次盤

（3）2号炉動力変圧器一次盤

（4）建築動力変圧器一次盤

（5）照明変圧器一次盤

（6）リサイクル動力変圧器一次盤

（7）進相コンデンサ盤（4面）

（8）非常電源盤

（9）1号炉共通動力変圧器盤・主幹盤

（10）2号炉共通動力変圧器盤・主幹盤

（11）建築動力変圧器・主幹盤

（12）照明変圧器・主幹盤

（13）リサイクルプラザ動力変圧器盤

3．業務内容

1）電気事業法（以下「法」という。）第2条に定義されている電気工作物において当施設で該当する自家用電気工作物（法第38条、法施行規則（以下「規則」という。）第48条）の月次点検、年次点検及び保安業務（自家用電気工作物に係る工事の立会い、その他助言や緊急時の対応等を含む。）を行うこと。

2）法第42条で定められている保安規程を制定し、委託者に届出し、それを遵守すること。

3）本契約により法第43条における業務主任技術者の選任及び届出を行うこと。

４）規則第 52 条第 2 項に定められているとおり、本契約により保安管理業務外部委託とする際に、国に提出する「保安管理業務外部委託承認申請書」を提出し、承認を得ること。

５）年次点検においては業務別紙 7 のとおり行うこと。

４．緊急時の対応

委託者から、対象設備について故障等の緊急事態が発生した旨の通報を受けた場合には、速やかに、対象設備の状況を確認するとともに事態に応じた適切な処置及び助言を与えるものとする。

５．安全確保

受託者は、作業の実施にあたっては、受託者が事故防止に十分注意し事故が発生した場合は、一切の責任を負うこと。

６．作業時の服装

作業服は常に清潔な制服を着用し胸部に名札をつけること。

７．作業等の注意事項

１）作業の実施にあたり、受託者が備品・器具等を破損し又は破損箇所を発見した場合は直ちに委託者に報告し指示を受けること。

２）盗難及び火災の発生に注意し作業が終了した時は、戸締りを確認すること。作業員は品位を保ち職員等に対して不快感を与えるような言動をしないこと。

８．諸材料その他

保守点検業務に伴い必要となる光熱水費は、委託者が負担すること。

業務別紙1

エレベーター保守点検業務　点検箇所及び内容

【昇降機】　（1／5）

箇　　所	機　器　名	点検内容
機械室	室内環境	1.　機械室出入口戸・窓の開閉・施錠状態 2.　機械室周壁劣化・損傷の有無 3.　機械室照明の点灯状態 4.　機械室内の換気状態
	制御盤	1.　制御盤固定状態 2.　制御盤扉開閉状態 3.　制御盤本体劣化・損傷の有無 4.　接触器作動状態 5.　各回路絶縁状態 6.　戸開走行保護装置作動状態※1 7.　その他機器作動状態 8.　その他機器劣化損傷の有無
	油圧ポンプ	1.　ポンプモータ回転状態 2.　ポンプモータ取付状態 3.　ポンプモータ劣化・損傷の有無 4.　ポンプモータ絶縁状態 5.　プーリー回転状態 6.　プーリー取付状態 7.　プーリー劣化・損傷の有無 8.　Vベルト劣化・損傷の有無 9.　Vベルト設定状態
	サイレンサ	1.　サイレンサ取付状態 2.　サイレンサ劣化・損傷の有無 3.　油漏れ有無
	バルブ	1.　各バルブ取付状態 2.　ロックナット締付状態 3.　圧力異常の有無 4.　油漏れ有無
	ファン ラジエータ	1.　ラジエータ取付状態 2.　ファンの劣化・損傷の有無 3.　ファンの固定状態・回転状態 4.　温度センサ作動状態 5.　油漏れ有無
	オイルタンク	1.　タンク取付状態 2.　タンクの劣化・損傷の有無 3.　フィルターの劣化・損傷の有無 4.　油漏れ有無
	その他	1.　端子箱の取付状態 2.　配管・配線の劣化・損傷の有無

箇　　　所	機　器　名	点検内容
かごまわり	かご上	1.　かご上各機器作動状態 2.　かご上各機器劣化・損傷の有無 3.　かご上各安全スイッチ作動状態
	かご戸まわり	1.　かご戸取付状態 2.　かごドアハンガー取付・作動状態 3.　かごドアハンガー劣化・損傷の有無 4.　戸開閉連動機構取付・作動状態 5.　戸開閉連動機構劣化・損傷の有無 6.　かごドア制御・駆動機器取付・作動状態 7.　かごドア制御・駆動機器劣化・損傷の有無 8.　かどドア関連安全装置取付・作動状態 9.　かごドア関連安全装置劣化・損傷の有無 10.　かご戸と乗場戸連動状態
	かご上 ステーション	1.　各安全スイッチ取付・作動状態 2.　ステーション内各機器作動状態 3.　ステーション内各機器劣化・損傷の有無
	着床装置	1.　着床リレー作動状態
	非常止め装置	1.　非常止め装置取付・作動状態 2.　非常止め装置劣化・損傷の有無 3.　非常止めスイッチ作動状態
	ガイドシュー （ガイドロラー）	1.　ガイドシュー（ガイドローラー）作動状態 2.　ガイドシュー（ガイドローラー）劣化・損傷の有無 3.　ガイドシュー（ガイドローラー）取付状態
	はかり装置	1.　スイッチ取付・作動状態 2.　はかり装置劣化・損傷の有無
	救出口	1.　スイッチ取付・作動状態 2.　扉開閉状態 3.　扉施錠状態
	吊り車	1.　綱車劣化・損傷の有無 2.　吊り車回転状態
	その他機器	1.　かご室ファン取付・作動状態 2.　移動ケーブル取付状態 3.　かご室組立構成機器取付状態 4.　かご室組立構成機器劣化・損傷の有無

箇　　　所	機　器　名	点検内容	
昇降路	昇降路	1.	昇降路周壁の劣化・損傷の有無
	終点スイッチ	1.	終点スイッチ作動状態
	ガイドレール	1.	レール劣化・損傷の有無
		2.	レール取付状態
	ロープ	1.	メインロープ劣化・損傷の有無
		2.	ガバナロープ劣化・損傷の有無
		3.	メインロープソケット劣化・損傷の有無
		4.	メインロープ取付状態
		5.	ガバナロープ取付状態
	調速機	1.	調速機運転状態
		2.	調速機作動速度
		3.	調速機回り各スイッチ作動状態
		4.	調速機取付状態
		5.	各給油部の給油状態
	着床装置プレート	1.	プレート劣化・損傷の有無
		2.	プレート取付状態
	移動ケーブル	1.	ケーブル動特性
		2.	ケーブル劣化・損傷の有無
		3.	ケーブル取付状態
	乗場戸まわり	1.	乗場戸自閉機能作動状態
		2.	乗場戸取付状態
		3.	乗場ドアハンガー取付・作動状態
		4.	乗場ドアハンガー劣化・損傷の有無
		5.	乗場ドア関連安全装置取付・作動状態
		6.	乗場ドア関連安全装置劣化損傷の有無
		7.	乗場戸とかご戸の連動状態
	油圧ジャッキ	1.	ジャッキ固定状態
		2.	プランジャ作動状態
		3.	プランジャ劣化・損傷の有無
		4.	パッキンの劣化・損傷の有無
		5.	ガイドシューの劣化・損傷の有無
		6.	ガイドシュー作動状態
	返し車	1.	綱車劣化・損傷の有無
		2.	返し車回転状態
	その他機器	1.	ケーブル保護網の劣化・損傷の有無
		2.	ロープ振れ止め取付状態

箇　　所	機　器　名	点検内容	
ピット	ピット	1.	ピット周壁の劣化・損傷の有無
		2.	ピット漏水の有無・汚損状態
	緩衝器	1.	緩衝器劣化・損傷の有無
		2.	緩衝器台劣化・損傷の有無
		3.	緩衝器取付状態
	張り車	1.	張り車劣化・損傷の有無
		2.	張り車取付・回転状態
	油圧配管	1.	各配管取付状態
		2.	各配管劣化・損傷の有無
		3.	油漏れ有無
	ジャッキ台	1.	ジャッキ台取付状態
		2.	ジャッキ台の劣化・損傷の有無
かご室乗場	かご	1.	かご運転状態
		2.	全自動戸開閉状態
		3.	停電灯点灯状態
		4.	かご内表示器作動状態
		5.	かご釦作動状態
		6.	かご釦劣化・損傷の有無
	照明・意匠	1.	かご室機器損傷・変形の有無
		2.	各銘板取付・汚損の有無
		3.	かご室照明点灯状態
	かご内操作盤	1.	かご内操作盤カバー取付状態
		2.	かご内操作盤各スイッチ作動状態
	外部連絡装置	1.	外部連絡装置作動状態
	乗場	1.	全自動戸開閉状態
		2.	乗場釦作動状態
		3.	乗場釦劣化・損傷の有無
		4.	乗場表示器作動状態

【付加装置】 （5／5）

箇　　　所	機　器　名		点検内容
地震時管制運転装置（EER）	全般	1.	管制運転作動状態
		2.	気配りアナウンス作動状態
	昇降路内	1.	地震感知器作動状態
		2.	地震感知器取付状態
	制御盤内	1.	接触器取付状態
		2.	接触器作動状態
		3.	接触器劣化・損傷の有無
停電時自動着床装置（MELD）	全般	1.	自動着床状態
		2.	戸開閉状態
		3.	気配りアナウンス作動状態
		4.	停電灯点灯状態
	制御盤内 かご上ST内	1.	接触器取付状態
		2.	接触器作動状態
		3.	接触器劣化・損傷の有無
		4.	各回路絶縁状態
		5.	MELD用基盤取付状態
		6.	MELD用基盤劣化・損傷の有無
		7.	その他機器取付状態
		8.	その他機器劣化・損傷の有無
	バッテリー	1.	作動電圧
火災時管制運転装置（FER）	全般	1.	管制運転作動状態
		2.	気配りアナウンス作動状態
	制御盤	1.	接触器取付状態
		2.	接触器作動状態
		3.	接触器劣化・損傷の有無
	乗場	1.	呼び戻しボタン取付状態
		2.	呼び戻しボタン作動状態
		3.	呼び戻しボタン劣化・損傷の有無
自家発管制運転装置（OEPS）	全般	1.	管制運転作動状態
		2.	気配りアナウンス作動状態
	制御盤内	1.	接触器取付状態
		2.	接触器作動状態
		3.	接触器劣化・損傷の有無
遮煙ドア	乗場ドア	1.	気密材取付状態
		2.	気密材劣化・損傷の有無
マルチビームドアセンサ（MBS）	本体	1.	センサ取付状態
		2.	ケーブル配線状態
		3.	基板取付・配線状態
		4.	作動状態

【付加装置】 （1／2）

箇　　　所	機　器　名	点検内容	
超音波 ドアセンサ （USDS）	本体	1.	センサ取付状態
		2.	ケーブル配線状態
		3.	基板取付・配線状態
		4.	作動状態
音声合成 アナウンス装置 （AAN）	本体	1.	装置本体取付状態
		2.	装置本体劣化・損傷の有無
		3.	スピーカー取付状態
		4.	作動状態
		5.	音声・音量の状態
車椅子仕様	専用乗車釦	1.	乗場釦作動状態
		2.	乗場釦劣化・損傷の有無
	専用操作盤釦	1.	操作盤カバー取付状態
		2.	かご釦作動状態
		3.	かご釦劣化・損傷の有無
	鏡	1.	鏡固定状態
		2.	鏡汚れ・損傷の有無
	手すり	1.	手すり固定状態
		2.	手すり劣化・損傷の有無
	光電式 ドアセンサ「	1.	光電式ドアセンサ作動状態
		2.	光電式ドアセンサ関連機器の取付状態
		3.	光電式ドアセンサ関連機器の劣化・損傷の有無
かご内 ITVカメラ		1.	カメラ本体内取付状態
		2.	カバー取付状態
		3.	レンズ汚れ・損傷の有無
		4.	カバー汚れ・損傷の有無
		5.	カメラの作動状態
指紋照合 呼び登録装置 ※2		1.	操作部劣化・損傷の有無
		2.	表示機器点灯状態
		3.	操作部取付状態
		4.	処理部及びテンキーの取付状態
		5.	表示部取付状態
エレベーター 連動システム （MIS） ＜指紋OPUタイプ＞	IDコントローラ	1.	コントローラの劣化・損傷の有無
		2.	コントローラの作動状態
		3.	コントローラの取付状態
		4.	表示機器点灯状態
	指紋OPU ※2	1.	ユニットの劣化・損傷の有無
		2.	ユニットの読み取り状態
		3.	ユニットの取付状態
		4.	表示機器点灯状態
		5.	作動ブザーの鳴動状態
	IOコントローラー ※3	1.	コントローラの劣化・損傷の有無
		2.	コントローラの作動状態
		3.	コントローラの取付状態
		4.	表示機器点灯状態

【付加装置】　(2／2)

箇　　所	機　器　名	点検内容	
エレベーター連動システム(MIS)<非接触カードリーダータイプ>	IDコントローラ	1.	コントローラの劣化・損傷の有無
		2.	コントローラの作動状態
		3.	コントローラの取付状態
		4.	表示機器点灯状態
	非接触カードリーダー※4	1.	カードリーダの劣化・損傷の有無
		2.	カードリーダの読み取り状態
		3.	カードリーダの取付状態
		4.	表示機器点灯状態
		5.	作動ブザーの鳴動状態
	IOコントローラー※3	1.	コントローラの劣化・損傷の有無
		2.	コントローラの作動状態
		3.	コントローラの取付状態
		4.	表示機器点灯状態
空調機	全般	1.	熱交換器汚損状態
		2.	フィルター汚損状態
		3.	吸込・吸出空気温度異常の有無
		4.	絶縁状態
		5.	ドレン部汚損状態

※1　戸開装置保護装置が設置されている場合に適用

※2　指紋データの登録・管理(バックアップ、アップロード、しきい値変更等)は含まず

※3　停止階床が15停止以上の場合に適用

※4　カードデータの登録・管理(バックアップ、アップロード)は含まず

業務別紙2

エレベーター保守点検業務　リモート点検項目及び内容

点検項目		点検内容
制御関連機器	設置環境	機器温度
	巻上機（パワーユニット）	ブレーキ（バルブ）動作状態
	制御盤	接触器動作状態 制御機器動作状態
かご関連機器	かごの戸	戸の開閉状態 ドアスイッチ動作状態
	かご操作盤	押し釦動作状態
	蛍光灯	点灯状態
	外部連絡装置	インターホン電源電圧状態
	停電灯	点灯状態
乗場関連機器	乗場の戸	開閉状態 ドアスイッチ動作状態
	乗場押し釦	動作状態
昇降路内関連機器	安全スイッチ	動作状態
運転性能		起動状態 加速状態 一定速状態 減速状態 着床状態

業務別紙3

エレベーター保守点検業務　消耗部品一覧

部　品　名	備　考
可動・固定コンタクト	リレーによっては本体工事となる場合有り
制御盤・受電盤内ヒューズ	NFブレーカーは含まない
制御盤・受電盤内抵抗管	リボン型抵抗管、回生抵抗は含まない
かごドア装置用Vベルト・ベルト	
給油器油芯（繊維）	
ドアシュー（戸の脚）	
照明用ランプ、スターター	ランプ関係には、ネオン管、インテリア照明、その他特殊な発光体は含まない
インジケーター用ランプ	
操作盤・乗場押し釦用ランプ	
かご室内停電灯用ランプ	
点検用オイル、グリス類	巻上機ギヤオイル、油圧式エレベーターの作動油及び緩衝器の作動油は含まない
ウェス、サンドペーパー	
ビス、ナット、ワッシャー	

冷却式チリングユニット

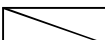
メ　ー　カ　ー	ダイキン工業㈱製		
機　　　種	UWAJ3000B5E	機　　　番	6850001
冷却能力	265kW	循環水量	760ℓ/min
系　統　名	冷水（各ファンコイル及び4階エアハンドリングユニット系統）	設置場所	屋上

点検項目			点検方法	基準	実測値		判定
電源回路	※	主電源回路絶縁テスト	500Vメガテスターにて測定（電源断を確認後測定のこと）	1MΩ以上		MΩ	
電源回路		操作回路絶縁テスト	500Vメガテスターにて測定（電源断を確認後測定のこと）	1MΩ以上		MΩ	
電源回路		主電源電圧	定格電圧の確認 各相間電圧の確認	規定電圧±10%以内 電圧の不均衡率±2%以内	R-S	V	
					S-T	V	
					R-T	V	
圧縮機	※	圧縮機モータ絶縁テスト	500Vメガテスターにて測定	1MΩ以上	MC1	MΩ	
					MC2	MΩ	
圧縮機	※	圧縮機用電磁開閉器	目視にて点検	接点の荒れがないこと	52C1		
					6C1		
					42C1		
			各端子をドライバーにて増締め	緩み、焼損がないこと	端子		
			目視にて点検	接点の荒れがないこと	52C2		
					6C2		
					42C2		
			各端子をドライバーにて増締め	緩み、焼損がないこと	端子		
圧縮機		油温	運転前に触感にて確認すること	暖まっていること	No.1		
					No.2		
圧縮機		クランクケースヒータ	（絶縁） 500Vメガテスターにて測定 （電流） クランプメーターにて測定	（絶縁） 1MΩ以上 （電流） 定格電流の±10以下	CH1	MΩ	
						A	
					CH2	MΩ	
						A	
圧縮機		圧縮機容量制御	コントローラにて確認 （非表示機は除く）	＼	No.1	ー　％	＼
					No.2	ー　％	＼
圧縮機		吐出圧力	圧力計にて測定	（冷房）1.3～1.9MPa （暖房）1.6～2.1MPa	No.1	MPa	
					No.2	MPa	
圧縮機		吸入圧力	圧力計にて測定	0.3～0.5MPa	No.1	MPa	
					No.2	MPa	

【判定】　〇：良好　△：要処置（運転可能）　×：要処置（運転不可）　◎：処置後良好

【点検項目】　※：高圧電源を切って点検のこと

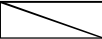
注意）点検不要項目は ＼ を記入のこと

業務別紙4

点検項目			点検方法	基準	実測値			判定
圧縮機		油圧	圧力計にて測定 （半密閉レシプロ搭載機のみ）	吸入圧力＋3～5kg/cm^2	No.1		－　MPa	
					No.2		－　MPa	
		吐出ガス温度	表面温度計にて吐出管温度測定 注）Tc = 吐出圧力飽和温度	（100%ロードにおける標準値） レシプロ搭載機　Tc+30～40℃ ｽｸﾘｭｰ（D型以前）Tc+10～15℃ ｽｸﾘｭｰ（F型以前）Tc+20～30℃	No.1		℃	
					No.2		℃	
		吸入ガス温度	表面温度計にて吐出管温度測定	吸入圧力温度+5～10℃	No.1		℃	
					No.2		℃	
		ファン電流	クランプメータにて測定	定格の115%以下	No.1		A	
					No.2		A	
			ファン電動機が3個以上の場合、基準外を記入		（		A ）	
		運転電流	クランプメータにて測定	定格電流の105%以下 （100%運転時）	1	R	A	
						S	A	
						T	A	
					2	R	A	
						S	A	
						T	A	
		油量	目視にて確認（油面計付のみ）	油面が見えること	No.1		○	
					No.2		○	
		冷媒量	目視にて確認（油面計付のみ）	液面が見えること	No.1	上 ○	下 ○	
					No.2	上 ○	下 ○	
空気熱交		吸込空気温度	温度計にて測定	使用限界内のこと	冷房		℃	
					暖房		℃	
		吹出空気温度	温度計にて測定	吸込・吹出温度差＝10℃ 前後	冷房		℃	
					暖房		℃	
		空気熱交の汚れ	目視にて確認	目詰まりなきこと				
水熱交		冷水温度	温度計にて測定	入口　12℃（標準）	入口		℃	
				出口　7℃（標準）	出口		℃	
		冷水温温度差	入口冷水温度－出口冷水温度	⊿t＝3～5℃（標準）			℃	
		熱交換の状況	冷水出口温度-吸入圧力飽和温度	7℃前後		－	℃	

【判定】　○：良好　△：要処置（運転可能）　×：要処置（運転不可）　◎：処置後良好

【点検項目】　※：高圧電源を切って点検のこと

注意）点検不要項目は［＼］を記入のこと

業務別紙4

点検項目			点検方法	基準	実測値		判定
ファン関係	※	ファン用電動機絶縁テスト	500Vメガテスターにて測定	1MΩ以上	No.1	MΩ	
					No.2	MΩ	
			ファン電動機が3個以上の場合、基準外を記入		(MΩ)		
	※	ファン用電磁開閉器	目視にて点検	緩み、焼損がないこと			
		ファン電動機	聴感	異音なきこと			
			目視	正回転のこと			
		ファン電流	クランプメータにて測定	定格の115%以下	No.1	A	
					No.2	A	
			ファン電動機が3個以上の場合、基準外を記入		(A)		
保安装置		高圧圧力開閉器	(冷房)HPSテスト釦又は空気熱交を覆う (暖房)温水出口弁を絞る	OFF(機種により異なる)	No.1	MPa	
					No.2	MPa	
		低圧圧力開閉器	液側閉鎖弁を絞る (機種により方法が異なる)	OFF(機種により異なる)	No.1	− MPa	
					No.2	− MPa	
		油圧保護圧力開閉器	油圧閉鎖弁を閉め、開閉器側の油を抜く または電気的に作動テスト (半密閉レシプロ搭載機のみ)	差圧(油圧−吸入圧) 1.5kg/cm^{2}以下 作動時間45秒	No.1	− MPa	
						− sec	
					No.2	− MPa	
						− sec	
		吐出ガス温度スイッチ	電気的に作動テスト	作動すること	No.1		
					No.2		
		圧縮機保護サーモ	電気的に作動テスト	作動すること	No.1		
					No.2		
		可溶栓	目視にて	変形なきこと	No.1		
					No.2		
		温度調整器	温度設定を変化させてサーモオン・オフ及びロードアップ・ダウンの確認	正常に作動すること			
		デフロスト	手動又は電気的に確認	正常に作動すること			
		冷温水断水リレー	手動又は電気的に確認	正常に作動すること			
		ファンインターロック	テストスイッチにて確認	ファン運転しないこと			
		圧力計・連成計	標準となる圧力計との比較	規定圧力内	別紙成績表		
		ガス漏れ	漏れ検知器にて確認	漏れなきこと	No.1		
					No.2		
		水漏れ	目視点検	漏れなきこと			
		冷水ポンプ取付	目視点検	押込み側のこと			
		外観状況	目視点検	腐食等なきこと			

【判定】 ○:良好 △:要処置(運転可能) ×:要処置(運転不可) ◎:処置後良好

【点検項目】 ※:高圧電源を切って点検のこと

注意)点検不要項目は［斜線］を記入のこと

業務別紙4

冷水ポンプ（CP−1）

点検機器名称		冷水ポンプ（CP−1）		メーカー名	エバラ
設置場所		4F		型式	80×65FS2G55.5
点検年月日		平成　年　月　日			
保守・点検・整備内容		点検結果		備考	
		良	否		
1	軸封部漏れ				
2	芯出状態				
3	軸受潤滑油状態				
4	運転音				
5	振動				
6	絶縁			MΩ	
7	電流値			A　（定格電流　21.4　A）	
8	吐出圧力			MPa	
9	制御盤点検				
10	外観調査				

点検写真

業務別紙4

温水一次ポンプ（HP−1）

点検機器名称	温水一次ポンプ（HP−1）	メーカー名	エバラ
設置場所	3F	型式	65×50FS2E
点検年月日	平成　年　月　日		

保守・点検・整備内容		点検結果		備考
		良	否	
1	軸封部漏れ			（グランドパッキン）
2	芯出状態			
3	軸受潤滑油状態			
4	運転音			
5	振動			
6	絶縁			MΩ
7	電流値			A　（定格電流　6.6　A）
8	吐出圧力			MPq
9	制御盤点検			
10	外観調査			

点検写真

暖房用温水二次ポンプ（HP−2）

点検機器名称	暖房用温水二次ポンプ（HP−2）			メーカー名	エバラ
設置場所	3F			型式	80×65FS2F
点検年月日	平成　年　月　日				

保守・点検・整備内容		点検結果 良	点検結果 否	備考
1	軸封部漏れ			（グランドパッキン）
2	芯出状態			
3	軸受潤滑油状態	−	−	−
4	運転音			
5	振動			
6	絶縁			MΩ
7	電流値			A　（定格電流　14.8　A）
8	吐出圧力			MPq
9	制御盤点検			
10	外観調査			

点検写真

業務別紙4

乾燥室温水二次ポンプ（HP−4）

点検機器名称		乾燥室温水二次ポンプ（HP−4）		メーカー名	エバラ
設置場所		3F		型式	25LPD
点検年月日		平成　年　月　日			
保守・点検・整備内容		点検結果		備考	
		良	否		
1	軸封部漏れ			（メカニカルシール）	
2	芯出状態	−	−	−	
3	軸受潤滑油状態	−	−	−	
4	運転音				
5	振動				
6	絶縁			MΩ	
7	電流値			A　（定格電流　0.9　A）	
8	吐出圧力	−	−	−　MPq	
9	制御盤点検				
10	外観調査				

点検写真

業務別紙4

温水二次ポンプ(HP−5)

点検機器名称		温水二次ポンプ(HP−5)		メーカー名	エバラ
設置場所		4F		型式	100×80FS2F
点検年月日		平成　年　月　日			
保守・点検・整備内容		点検結果		備考	
		良	否		
1	軸封部漏れ			(グランドパッキン)	
2	芯出状態	−	−	−	
3	軸受潤滑油状態	−	−	−	
4	運転音				
5	振動				
6	絶縁			MΩ	
7	電流値			A　(定格電流　58.6　A)	
8	吐出圧力			MPq	
9	制御盤点検				
10	外観調査				

点検写真

業務別紙4

冷却式チリングユニット

メーカー	ダイキン工業㈱製				
機種	AHV15EB	機番	6817434	系統名	4階エアハンドリングユニット（外調機）
冷却能力	74,000 kcal/H	送風量	8,800 kcal/H		
暖房能力	99,300 kcal/H	設置場所	4F		

	点検項目	点検方法	基準	実測値		判定
電気関係	主電源電圧	各相間電圧測定	規定電圧±10%以内	R-S	V	
				S-T	V	
				R-T	V	
	ヒューズ容量	目視点検	規定ヒューズのこと		MΩ	
	操作回路絶縁	500Vメガテスターにて測定	1MΩ以上		MΩ	
	ファンモーター絶縁	500Vメガテスターにて測定	1MΩ以上		MΩ	
	モータ接地アース	有無を目視確認	アースされていること			
	ウエットマスター絶縁	500Vメガテスターにて測定	1MΩ以上	-	MΩ	＼
送風機関係	ファンモーター運転電流	クランプメータにて測定	定格電流の115%以下	R	A	
				S	A	
				T	A	
	グリスアップ	定期的に実施	-			
	ファンベルト	目視点検	緩みなきこと			
	ファンロータ	目視点検	ガタ、汚れなきこと			
	ベアリング音	目視点検	異音なきこと			
	プーリー、カップリング間の芯出し	目視点検	芯が出ていること			
	エアフィルター	目視点検	目詰まりなきこと			
熱交換器関係	空気入口温度	温度計にて測定	-		℃	
	空気出口温度	温度計にて測定	-		℃	
	水入口温度	温度計にて測定	-		℃	
	水出口温度	温度計にて測定	-		℃	
	熱交フィン	目視点検	汚れ・目詰まりなきこと			
	空気混入	音、エアー抜きにて点検	空気混入なきこと			
その他	水漏れ	目視点検	漏れなきこと			
	機内汚れ	目視点検	汚れなきこと			
	運転音、振動	聴感、触感	異音、振動なきこと			
	本体空気漏れ	薄い紙にて点検	漏れなきこと			
	ファン回転方向	目視点検	逆転なきこと			
	断熱材	目視点検	剥がれなきこと			

【判定】　○：良好　△：要処置（運転可能）　×：要処置（運転不可）　◎：処置後良好

注意）点検不要項目は ＼ を記入のこと

業務別紙4

空冷ヒートポンプパッケージエアコン①

メ ー カ ー	ダイキン工業㈱製					
室 外 機	機 種	RSLYJ450KAE	機 番	6800258	系 統 名 ・ 設 置 場 所	1階系統PAC1-1・2F

	点検項目	点検方法	基準	実測値		判定
絶縁測定	圧縮機	500Vメガテスターにて測定 (U、V、Wの各端子を測定し最低値を記入)	1MΩ以上	No.1	MΩ	
				No.2	MΩ	
				No.3	MΩ	
	ファンモータ	500Vメガテスターにて測定	1MΩ以上	MF1	MΩ	
				MF2	MΩ	
				MF3	MΩ	
				MF4	MΩ	
	電気回路	500Vメガテスターにて測定	1MΩ以上		MΩ	
電気系統	電源配線接続	電源端子のビス締付けを確認	緩みなきこと			
	端子・コネクタ類	目視、差込確認	抜け、緩みなきこと		A	
冷媒	機内冷媒系統	機内冷媒配管の溶接箇所、およびフレア部をリークテスタにて確認	漏れなきこと			
運転データ	電源電圧	各相間をテスターにて測定(運転中)	定格電圧の±10%以内 電圧降下なきこと	R-S	V	
				S-T	V	
				T-R	V	
	圧縮機運転電流	クランプメータにて測定 (周波数固定モードあるいは応急モードにて、インバータ側は一定周波数で、定速側はフルロードにて測定のこと)	定格電流の115%以下	No.1 U	A	
				No.1 V	A	
				No.1 W	A	
				No.1 インバータ	Hz	
				No.2 U	A	
				No.2 V	A	
				No.2 W	A	
	ファン運転電流	クランプメータにて測定	定格電流の115%以下	MF1	A	
				MF2	A	
				MF3	A	
				MF4	A	
	高圧圧力	圧力ゲージ、サービスチェッカーにて測定 (運転開始後20分以降に測定)	－		MPa	
	低圧圧力	圧力ゲージ、サービスチェッカーにて測定 (運転開始後21分以降に測定)	－		MPa	
	外気温度(A)	温度計にて測定(室外機の吹出空気の影響を受けないところで測定)	－		℃	
	吸込空気温度(B)	温度計にて測定(ショートサーキット無いことも確認)	－		℃	
	吹出空気温度	温度計にて測定(外気温度との差がもっとも大きい温度を測定)	－		℃	
	ショートサーキット値	上記 (B)-(A)=⊿t℃	⊿tが5℃以内のこと		℃	
	吐出管温度	表面温度計、サービスチェッカーにて測定	－	No.1COMP	℃	
				No.2COMP	℃	
				No.3COMP	℃	
	吸入管温度	表面温度計、サービスチェッカーにて測定(インジェクションの影響を受けないところで測定)	－		℃	
その他	異音・振動	ケーシング、ファン付近を聴感にて確認	異常なきこと			
	外観・熱交換器	汚れ、破損等がないか目視にて確認	異常なきこと			

【判定】 ○:良好 △:要処置(運転可能) ×:要処置(運転不可) ◎:処置後良好

注意)点検不要項目は［斜線］を記入のこと

業務別紙4

		機種名	機番	系統名・設置場所
室内機	No.1	FHYCJ112KA	6803208	中央制御室・道路側
	No.2	FXYCJ112KA	6803193	中央制御室・中央側
	No.3	FXYCJ112KA	6803191	中央制御室・奥側
	No.4	FXYFJ80KA	8000759	作業員休憩室

点検項目		点検方法	基準	実測値		
絶縁	主電源	500Vメガテスターにて測定	1MΩ以上	No.1	MΩ	
				No.2	MΩ	
				No.3	MΩ	
				No.4	MΩ	
	電気ヒータ	500Vメガテスターにて測定	1MΩ以上	No.1	MΩ	
				No.2	MΩ	
				No.3	MΩ	
				No.4	MΩ	
運転データ	吸込温度	温度計にて	(冷房)16～28℃ (暖房)16～28℃	No.1	℃	
				No.2	℃	
				No.3	℃	
				No.4	℃	
	吹出温度	温度計にて	(冷房)10～12℃ (暖房)38～48℃	No.1	℃	
				No.2	℃	
				No.3	℃	
				No.4	℃	
	温度差	上記の温度差	(冷房)6～16℃ (暖房)6～20℃	No.1	℃	
				No.2	℃	
				No.3	℃	
				No.4	℃	
	運転音	聴感	異常音なきこと	No.1	℃	
				No.2	℃	
				No.3	℃	
				No.4	℃	
その他	水漏れ確認	冷房で20分以上運転させて確認	水漏れなきこと	No.1	℃	
				No.2	℃	
				No.3	℃	
				No.4	℃	
	スイング	リモコンにて動作確認	正常動作すること	No.1	℃	
				No.2	℃	
				No.3	℃	
				No.4	℃	
	異常履歴	リモコンにて確認	履歴クリアすること	No.1	℃	
				No.2	℃	
				No.3	℃	
				No.4	℃	

【判定】　○：良好　△：要処置（運転可能）　×：要処置（運転不可）　◎：処置後良好

注意）点検不要項目は［斜線］を記入のこと

業務別紙4

メーカー	ダイキン工業㈱製					
室内機	機種	FHYJ280L	機番	6800212	系統名・設置場所	電気室(手前左)
室外機	機種	RJ280LE	機番	6800009	系統名・設置場所	(道路側)

	点検項目	点検方法	基準	実測値		判定
絶縁測定	圧縮機	500Vメガテスターにて測定	1MΩ以上		MΩ	
	クランクケースヒータ	500Vメガテスターにて測定	1MΩ以上		MΩ	
	室外ファン	ファン用コネクターを外して測定 500Vメガテスターにて測定	1MΩ以上	MF1	MΩ	
				MF2	MΩ	
	電源回路	500Vメガテスターにて測定(ブレーカ遮断のこと)	1MΩ以上		MΩ	
	室内外連絡線	500Vメガテスターにて測定 (ブレーカ遮断のこと)	1MΩ以上	1)	MΩ	
				2)	MΩ	
				3)	MΩ	
	室内電気ヒータ	500Vメガテスターにて測定	1MΩ以上		MΩ	
電気	端子・コネクタ類	目視、差込状態、ビス締付部を確認	抜け、緩みなきこと			
	ブレーカ容量	目視確認	定格容量のこと		A	
冷媒	ガス漏れ	リークテスターにて確認	漏れなきこと			
室外機運転中	電源電圧	各相間をテスターにて測定(運転中)	定格電圧の±10%以内 電圧降下なきこと	R-S	V	
				S-T	V	
				T-R	V	
	総合運転電流	クランプメーターにて測定(試運転モードにて)	定格電流の115%以下	R	A	
				S	A	
				T	A	
				インバータ	Hz	
	高圧圧力	ﾏﾆﾎｰﾙﾄﾞｹﾞｰｼﾞをｻｰﾋﾞｽﾎﾟｰﾄに接続して測定	1.3〜2.2MPa		MPa	
	低圧圧力	ﾏﾆﾎｰﾙﾄﾞｹﾞｰｼﾞをｻｰﾋﾞｽﾎﾟｰﾄに接続して測定	0.3〜0.65MPa		MPa	
	吐出管温度	サーミスタ温度計にて測定	40〜115℃		℃	
	吸入管温度	サーミスタ温度計にて測定	−5〜25℃		℃	
	外気温度(A)	サーミスタ温度計にて測定	−5〜43℃		℃	
	吸込温度(B)	サーミスタ温度計にて測定	−		℃	
	吹出温度(C)	サーミスタ温度計にて測定	(B)+5℃以上		℃	
	ショートサーキット値	上記 (B)−(A)=⊿t℃にて測定	⊿tが5℃以内のこと		℃	
	異音・振動	ケーシング、ファン付近を聴感にて確認	異常なきこと			
	外観・熱交換器	汚れ、破損等ないか目視確認	異常なきこと			
室内機運転中	各コネクタ類	目視、手感にて差込状態確認	抜け、緩みなきこと			
	ショートサーキットの確認	化粧パネルと本体との隙間、吹出方向の障害物の確認	隙間、障害物のなきこと			
	吸込温度	サーミスタ温度計にて測定	−		℃	
	吹出温度	サーミスタ温度計にて測定	−		℃	
	吸込・吹出温度差	上記、吸込・吹出温度差	(冷房)8〜12℃ (暖房)10〜20℃		℃	
	水漏れ確認	冷房で20分以上サーモONした後確認	水漏れなきこと			
その他	室内運転音	ファン付近、本体を聴感にて確認	異音なきこと			
	スイングフラップ	スムーズに作動するか、異音ないか確認	正常作動のこと			
	エアフィルター	取外して汚れ、破損の有無を確認	汚れ、破損なきこと			
	熱交換器	目視、臭感にて確認	汚れ、異臭なきこと			
	異常履歴	リモコンにて確認	履歴消去のこと			

【判定】 ○:良好 △:要処置(運転可能) ×:要処置(運転不可) ◎:処置後良好

注意)点検不要項目は［斜線］を記入のこと

業務別紙4

空冷ヒートポンプパッケージエアコン③

メーカー	ダイキン工業㈱製				
室内機	機種	FHYJ280L	機番	6800215	系統名・設置場所	電気室(奥側右)
室外機	機種	RJ280LE	機番	6800010	系統名・設置場所	(道路側)

点検項目		点検方法	基準	実測値		判定
絶縁測定	圧縮機	500Vメガテスターにて測定	1MΩ以上		MΩ	
	クランクケースヒータ	500Vメガテスターにて測定	1MΩ以上		MΩ	
	室外ファン	ファン用コネクターを外して測定 500Vメガテスターにて測定	1MΩ以上	MF1	MΩ	
				MF2	MΩ	
	電源回路	500Vメガテスターにて測定(ブレーカ遮断のこと)	1MΩ以上		MΩ	
	室内外連絡線	500Vメガテスターにて測定 (ブレーカ遮断のこと)	1MΩ以上	1)	MΩ	
				2)	MΩ	
				3)	MΩ	
	室内電気ヒータ	500Vメガテスターにて測定	1MΩ以上		MΩ	
電気	端子・コネクタ類	目視、差込状態、ビス締付部を確認	抜け、緩みなきこと			
	ブレーカ容量	目視確認	定格容量のこと		A	
冷媒	ガス漏れ	リークテスターにて確認	漏れなきこと			
室外機運転中	電源電圧	各相間をテスターにて測定(運転中)	定格電圧の±10%以内 電圧降下なきこと	R−S	V	
				S−T	V	
				T−R	V	
	総合運転電流	クランプメーターにて測定(試運転モードにて)	定格電流の115%以下	R	A	
				S	A	
				T	A	
				インバータ	Hz	
	高圧圧力	マニホールドゲージをサービスポートに接続して測定	1.3～2.2MPa		MPa	
	低圧圧力	マニホールドゲージをサービスポートに接続して測定	0.3～0.65MPa		MPa	
	吐出管温度	サーミスタ温度計にて測定	40～115℃		℃	
	吸入管温度	サーミスタ温度計にて測定	−5～25℃		℃	
	外気温度(A)	サーミスタ温度計にて測定	−5～43℃		℃	
	吸込温度(B)	サーミスタ温度計にて測定	−		℃	
	吹出温度(C)	サーミスタ温度計にて測定	(B)+5℃以上		℃	
	ショートサーキット値	上記 (B)−(A)=⊿t℃にて測定	⊿tが5℃以内のこと		℃	
	異音・振動	ケーシング、ファン付近を聴感にて確認	異常なきこと			
	外観・熱交換器	汚れ、破損等ないか目視確認	異常なきこと			
室内機運転中	各コネクタ類	目視、手感にて差込状態確認	抜け、緩みなきこと			
	ショートサーキットの確認	化粧パネルと本体との隙間、吹出方向の障害物の確認	隙間、障害物のなきこと			
	吸込温度	サーミスタ温度計にて測定	−		℃	
	吹出温度	サーミスタ温度計にて測定	−		℃	
	吸込・吹出温度差	上記、吸込・吹出温度差	(冷房)8～12℃ (暖房)10～20℃		℃	
	水漏れ確認	冷房で20分以上サーモONした後確認	水漏れなきこと			
その他	室内運転音	ファン付近、本体を聴感にて確認	異音なきこと			
	スイングフラップ	スムーズに作動するか、異音ないか確認	正常作動のこと			
	エアフィルター	取外して汚れ、破損の有無を確認	汚れ、破損なきこと			
	熱交換器	目視、臭感にて確認	汚れ、異臭なきこと			
	異常履歴	リモコンにて確認	履歴消去のこと			

【判定】　○:良好　△:要処置(運転可能)　×:要処置(運転不可)　◎:処置後良好

注意)点検不要項目は[斜線枠]を記入のこと

業務別紙4

空冷ヒートポンプパッケージエアコン④

メーカー	ダイキン工業㈱製				
室内機	機種	FHYJ280L	機番	6800016	系統名・設置場所	電気室（手前右）
室外機	機種	RJ280LE	機番	6800008	系統名・設置場所	（建物側）

	点検項目	点検方法	基準	実測値		判定
絶縁測定	圧縮機	500Vメガテスターにて測定	1MΩ以上		MΩ	
	クランクケースヒータ	500Vメガテスターにて測定	1MΩ以上		MΩ	
	室外ファン	ファン用コネクターを外して測定 500Vメガテスターにて測定	1MΩ以上	MF1	MΩ	
				MF2	MΩ	
	電源回路	500Vメガテスターにて測定（ブレーカ遮断のこと）	1MΩ以上		MΩ	
	室内外連絡線	500Vメガテスターにて測定 （ブレーカ遮断のこと）	1MΩ以上	1）	MΩ	
				2）	MΩ	
				3）	MΩ	
	室内電気ヒータ	500Vメガテスターにて測定	1MΩ以上		MΩ	
電気	端子・コネクタ類	目視、差込状態、ビス締付部を確認	抜け、緩みなきこと			
	ブレーカ容量	目視確認	定格容量のこと		A	
冷媒	ガス漏れ	リークテスターにて確認	漏れなきこと			
室外機運転中	電源電圧	各相間をテスターにて測定（運転中）	定格電圧の±10%以内 電圧降下なきこと	R-S	V	
				S-T	V	
				T-R	V	
	総合運転電流	クランプメーターにて測定（試運転モードにて）	定格電流の115%以下	R	A	
				S	A	
				T	A	
				インバータ	Hz	
	高圧圧力	ﾏﾆﾎｰﾙﾄﾞｹﾞｰｼﾞをｻｰﾋﾞｽﾎﾞｰﾄﾞに接続して測定	1.3～2.2MPa		MPa	
	低圧圧力	ﾏﾆﾎｰﾙﾄﾞｹﾞｰｼﾞをｻｰﾋﾞｽﾎﾞｰﾄﾞに接続して測定	0.3～0.65MPa		MPa	
	吐出管温度	サーミスタ温度計にて測定	40～115℃		℃	
	吸入管温度	サーミスタ温度計にて測定	-5～25℃		℃	
	外気温度（A）	サーミスタ温度計にて測定	-5～43℃		℃	
	吸込温度（B）	サーミスタ温度計にて測定	-		℃	
	吹出温度（C）	サーミスタ温度計にて測定	（B）＋5℃以上		℃	
	ショートサーキット値	上記 （B）-（A）=⊿t℃にて測定	⊿tが5℃以内のこと		℃	
	異音・振動	ケーシング、ファン付近を聴感にて確認	異常なきこと			
	外観・熱交換器	汚れ、破損等ないか目視確認	異常なきこと			
室内機運転中	各コネクタ類	目視、手感にて差込状態確認	抜け、緩みなきこと			
	ショートサーキットの確認	化粧パネルと本体との隙間、吹出方向の障害物の確認	隙間、障害物のなきこと			
	吸込温度	サーミスタ温度計にて測定	-		℃	
	吹出温度	サーミスタ温度計にて測定	-		℃	
	吸込・吹出温度差	上記、吸込・吹出温度差	（冷房）8～12℃ （暖房）10～20℃		℃	
	水漏れ確認	冷房で20分以上サーモONした後確認	水漏れなきこと			
その他	室内運転音	ファン付近、本体を聴感にて確認	異音なきこと			
	スイングフラップ	スムーズに作動するか、異音ないか確認	正常作動のこと			
	エアフィルター	取外して汚れ、破損の有無を確認	汚れ、破損なきこと			
	熱交換器	目視、臭感にて確認	汚れ、異臭なきこと			
	異常履歴	リモコンにて確認	履歴消去のこと			

【判定】 〇：良好 △：要処置（運転可能） ×：要処置（運転不可） ◎：処置後良好

注意）点検不要項目は［斜線］を記入のこと

業務別紙4

空冷ヒートポンプパッケージエアコン⑤

メーカー	ダイキン工業㈱製					
室内機	機種	FHYJ280L	機番	6800006	系統名・設置場所	電気室(奥側左)
室外機	機種	RJ280LE	機番	6800003	系統名・設置場所	(建物側)

点検項目		点検方法	基準	実測値		判定
絶縁測定	圧縮機	500Vメガテスターにて測定	1MΩ以上		MΩ	
	クランクケースヒータ	500Vメガテスターにて測定	1MΩ以上		MΩ	
	室外ファン	ファン用コネクターを外して測定 500Vメガテスターにて測定	1MΩ以上	MF1	MΩ	
				MF2	MΩ	
	電源回路	500Vメガテスターにて測定(ブレーカ遮断のこと)	1MΩ以上		MΩ	
	室内外連絡線	500Vメガテスターにて測定 (ブレーカ遮断のこと)	1MΩ以上	1)	MΩ	
				2)	MΩ	
				3)	MΩ	
	室内電気ヒータ	500Vメガテスターにて測定	1MΩ以上		MΩ	
電気	端子・コネクタ類	目視、差込状態、ビス締付部を確認	抜け、緩みなきこと			
	ブレーカ容量	目視確認	定格容量のこと		A	
冷媒	ガス漏れ	リークテスターにて確認	漏れなきこと			
室外機運転中	電源電圧	各相間をテスターにて測定(運転中)	定格電圧の±10%以内 電圧降下なきこと	R-S	V	
				S-T	V	
				T-R	V	
	総合運転電流	クランプメーターにて測定(試運転モードにて)	定格電流の115%以下	R	A	
				S	A	
				T	A	
				インバータ	Hz	
	高圧圧力	ﾏﾆﾎｰﾙﾄﾞｹﾞｰｼﾞをｻｰﾋﾞｽﾎﾟｰﾄﾞに接続して測定	1.3～2.2MPa		MPa	
	低圧圧力	ﾏﾆﾎｰﾙﾄﾞｹﾞｰｼﾞをｻｰﾋﾞｽﾎﾟｰﾄﾞに接続して測定	0.3～0.65MPa		MPa	
	吐出管温度	サーミスタ温度計にて測定	40～115℃		℃	
	吸入管温度	サーミスタ温度計にて測定	-5～25℃		℃	
	外気温度(A)	サーミスタ温度計にて測定	-5～43℃		℃	
	吸込温度(B)	サーミスタ温度計にて測定	-		℃	
	吹出温度(C)	サーミスタ温度計にて測定	(B)+5℃以上		℃	
	ショートサーキット値	上記 (B)-(A)=⊿t℃にて測定	⊿tが5℃以内のこと		℃	
	異音・振動	ケーシング、ファン付近を聴感にて確認	異常なきこと			
	外観・熱交換器	汚れ、破損等ないか目視確認	異常なきこと			
室内機運転中	各コネクタ類	目視、手感にて差込状態確認	抜け、緩みなきこと			
	ショートサーキットの確認	化粧パネルと本体との隙間、吹出方向の障害物の確認	隙間、障害物のなきこと			
	吸込温度	サーミスタ温度計にて測定	-		℃	
	吹出温度	サーミスタ温度計にて測定	-		℃	
	吸込・吹出温度差	上記、吸込・吹出温度差	(冷房)8～12℃ (暖房)10～20℃		℃	
	水漏れ確認	冷房で20分以上サーモONした後確認	水漏れなきこと			
その他	室内運転音	ファン付近、本体を聴感にて確認	異音なきこと			
	スイングフラップ	スムーズに作動するか、異音ないか確認	正常作動のこと			
	エアフィルター	取外して汚れ、破損の有無を確認	汚れ、破損なきこと			
	熱交換器	目視、臭感にて確認	汚れ、異臭なきこと			
	異常履歴	リモコンにて確認	履歴消去のこと			

【判定】 ○:良好 △:要処置(運転可能) ×:要処置(運転不可) ◎:処置後良好

注意)点検不要項目は［斜線］を記入のこと

業務別紙4

空冷ヒートポンプパッケージエアコン⑥

メーカー	ダイキン工業㈱製					
室外機	機種	RSXYJ160KAE	機番	6800054	系統名・設置場所	PAC1-1 3F系統

	点検項目	点検方法	基準	実測値		判定
絶縁測定	圧縮機	500Vメガテスターにて測定 （U、V、Wの各端子を測定し最低値を記入）	1MΩ以上	No.1	MΩ	
				No.2	MΩ	
				No.3	MΩ	
	ファンモータ	500Vメガテスターにて測定	1MΩ以上	MF1	MΩ	
				MF2	MΩ	
				MF3	MΩ	
				MF4	MΩ	
	電気回路	500Vメガテスターにて測定	1MΩ以上		MΩ	
	クランクケースヒーター	500Vメガテスターにて測定	1MΩ以上	No.1	MΩ	
				No.2	MΩ	
				No.3	MΩ	
電気	端子・コネクタ類	目視、差込確認	抜け、緩みなきこと		A	
冷媒	機内冷媒系統	機内冷媒配管の溶接箇所、およびフレア部をリークテスタにて確認	漏れなきこと			
運転データ	電源電圧	各相間をテスターにて測定（運転中）	定格電圧の±10%以内 電圧降下なきこと	R-S	V	
				S-T	V	
				T-R	V	
	圧縮機運転電流	クランプメータにて測定 （周波数固定モードあるいは応急モードにて、インバータ側は一定周波数で、定速側はフルロードにて測定のこと）	定格電流の115%以下	No.1 U	A	
				No.1 V	A	
				No.1 W	A	
				No.1 インバータ	Hz	
				No.2 U	A	
				No.2 V	A	
				No.2 W	A	
	ファン運転電流	クランプメータにて測定	定格電流の115%以下	MF1	A	
				MF2	A	
				MF3	A	
				MF4	A	
	高圧圧力	圧力ゲージ、サービスチェッカーにて測定 （運転開始後20分以降に測定）	－		MPa	
	低圧圧力	圧力ゲージ、サービスチェッカーにて測定 （運転開始後21分以降に測定）	－		MPa	
	外気温度	温度計にて測定（室外機の吹出空気の影響を受けないところで測定）	－		℃	
	吸込空気温度	温度計にて測定（ショートサーキット無いことも確認）	－		℃	
	吹出空気温度	温度計にて測定（外気温度との差がもっとも大きい温度を測定）	－		℃	
	吐出管温度	表面温度計、サービスチェッカーにて測定	－	No.1COMP	℃	
				No.2COMP	℃	
				No.3COMP	℃	
	吸入管温度	表面温度計、サービスチェッカーにて測定（インジェクションの影響を受けないところで測定）	－		℃	
その他	異音・振動	ケーシング、ファン付近を聴感にて確認	異常なきこと			
	外観・熱交換器	汚れ、破損等がないか目視にて確認	異常なきこと			

【判定】　○：良好　△：要処置（運転可能）　×：要処置（運転不可）　◎：処置後良好

注意）点検不要項目は［斜線］を記入のこと

業務別紙4

		機種名	機番	系統名・設置場所
室内機	No.1	FXYFJ71KA	7000399	小会議室
	No.2	FXYCJ56KA	6713772	仮眠室
	No.3			
	No.4			

点検項目		点検方法	基準	実測値		
絶縁	主電源	500Vメガテスターにて測定	1MΩ以上	No.1	MΩ	
				No.2	MΩ	
				No.3	MΩ	
				No.4	MΩ	
	電気ヒータ	500Vメガテスターにて測定	1MΩ以上	No.1	MΩ	
				No.2	MΩ	
				No.3	MΩ	
				No.4	MΩ	
運転データ	吸込温度	温度計にて	(冷房)16~28℃ (暖房)16~28℃	No.1	℃	
				No.2	℃	
				No.3	℃	
				No.4	℃	
	吹出温度	温度計にて	(冷房)10~12℃ (暖房)38~48℃	No.1	℃	
				No.2	℃	
				No.3	℃	
				No.4	℃	
	温度差	上記の温度差	(冷房)6~16℃ (暖房)6~20℃	No.1	℃	
				No.2	℃	
				No.3	℃	
				No.4	℃	
	運転音	聴感	異常音なきこと	No.1	℃	
				No.2	℃	
				No.3	℃	
				No.4	℃	
その他	水漏れ確認	冷房で20分以上運転させて確認	水漏れなきこと	No.1	℃	
				No.2	℃	
				No.3	℃	
				No.4	℃	
	スイング	リモコンにて動作確認	正常動作すること	No.1	℃	
				No.2	℃	
				No.3	℃	
				No.4	℃	
	異常履歴	リモコンにて確認	履歴クリアすること	No.1	℃	
				No.2	℃	
				No.3	℃	
				No.4	℃	

【判定】 ○:良好 △:要処置(運転可能) ×:要処置(運転不可) ◎:処置後良好

注意)点検不要項目は［斜線］を記入のこと

業務別紙4

空冷ヒートポンプパッケージエアコン⑦

<table>
<tr><td>メーカー</td><td colspan="7">ダイキン工業㈱製</td></tr>
<tr><td>室外機</td><td>機種</td><td>RYJ224KE</td><td>機番</td><td>6800198</td><td>系統名・設置場所</td><td colspan="2">低圧電気室</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="2">点検項目</th><th>点検方法</th><th>基準</th><th colspan="3">実測値</th><th>判定</th></tr>
<tr><td rowspan="12">絶縁測定</td><td rowspan="2">圧縮機</td><td rowspan="2">500Vメガテスターにて測定
(U、V、Wの各端子を測定し最低値を記入)</td><td rowspan="2">1MΩ以上</td><td colspan="2">No.1</td><td>MΩ</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">No.2</td><td>MΩ</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">クランクケースヒータ</td><td rowspan="2">500Vメガテスターにて測定</td><td rowspan="2">1MΩ以上</td><td colspan="2">No.1</td><td>MΩ</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">No.2</td><td>MΩ</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">室外ファン</td><td rowspan="2">ファン用コネクターを外して測定
500Vメガテスターにて測定</td><td rowspan="2">1MΩ以上</td><td colspan="2">No.1</td><td>MΩ</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">No.2</td><td>MΩ</td><td></td></tr>
<tr><td>電源回路</td><td>500Vメガテスターにて測定(ブレーカ遮断のこと)</td><td>1MΩ以上</td><td colspan="3">MΩ</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">室内外連絡線</td><td rowspan="3">500Vメガテスターにて測定
(ブレーカ遮断のこと)</td><td rowspan="3">1MΩ以上</td><td colspan="2">1)</td><td>MΩ</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">2)</td><td>MΩ</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">3)</td><td>MΩ</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="7" style="display:none"></td></tr>
<tr><td colspan="7" style="display:none"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">電気</td><td>端子・コネクタ類</td><td>目視、差込状態、ビス締付部を確認</td><td>抜け、緩みなきこと</td><td colspan="3"></td><td></td></tr>
<tr><td>ブレーカ容量</td><td>目視確認</td><td>定格容量のこと</td><td colspan="3">A</td><td></td></tr>
<tr><td>冷媒</td><td>ガス漏れ</td><td>リークテスターにて確認</td><td>漏れなきこと</td><td colspan="3"></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="30">室外機運転中</td><td rowspan="3">電源電圧</td><td rowspan="3">各相間をテスターにて測定(運転中)</td><td rowspan="3">定格電圧の±10%以内
電圧降下なきこと</td><td colspan="2">R-S</td><td>V</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">S-T</td><td>V</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">T-R</td><td>V</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="7">圧縮機運転電流</td><td rowspan="7">クランプメータにて測定
(周波数固定モードあるいは応急モードにて、インバータ側は一定周波数で、定速側はフルロードにて測定のこと)</td><td rowspan="7">定格電流の115%以下</td><td rowspan="4">No.1</td><td>U</td><td>A</td><td></td></tr>
<tr><td>V</td><td>A</td><td></td></tr>
<tr><td>W</td><td>A</td><td></td></tr>
<tr><td>インバータ</td><td>Hz</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">No.2</td><td>U</td><td>A</td><td></td></tr>
<tr><td>V</td><td>A</td><td></td></tr>
<tr><td>W</td><td>A</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">ファン運転電流</td><td rowspan="2">クランプメータにて測定</td><td rowspan="2">定格電流の115%以下</td><td colspan="2">MF1</td><td>A</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">MF2</td><td>A</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">高圧圧力</td><td rowspan="2">ﾏﾆﾎｰﾙﾄﾞｹﾞｰｼﾞをｻｰﾋﾞｽﾎﾟｰﾄﾞに接続して測定</td><td rowspan="2">1.3～2.2MPa</td><td colspan="2">No.1</td><td>MPa</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">No.2</td><td>MPa</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">低圧圧力</td><td rowspan="2">ﾏﾆﾎｰﾙﾄﾞｹﾞｰｼﾞをｻｰﾋﾞｽﾎﾟｰﾄﾞに接続して測定</td><td rowspan="2">0.3～0.65MPa</td><td colspan="2">No.1</td><td>MPa</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">No.2</td><td>MPa</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">吐出管温度</td><td rowspan="2">サーミスタ温度計にて</td><td rowspan="2">40～115℃</td><td colspan="2">No.1</td><td>℃</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">No.2</td><td>℃</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">吸入管温度</td><td rowspan="2">サーミスタ温度計にて</td><td rowspan="2">-5～25℃</td><td colspan="2">No.1</td><td>℃</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">No.2</td><td>℃</td><td></td></tr>
<tr><td>外気温度(A)</td><td>サーミスタ温度計にて</td><td>-5～25℃</td><td colspan="3">℃</td><td></td></tr>
<tr><td>吸込空気温度(B)</td><td>サーミスタ温度計にて</td><td>-</td><td colspan="3">℃</td><td></td></tr>
<tr><td>吹出空気温度(C)</td><td>サーミスタ温度計にて</td><td>(B)+5℃以上</td><td colspan="3">℃</td><td></td></tr>
<tr><td>ショートサーキット値</td><td>上記(B)-(A)=⊿t℃にて判定</td><td>⊿tが5℃以内</td><td colspan="3">℃</td><td></td></tr>
<tr><td>異音・振動</td><td>ケーシング、ファン付近を聴感にて確認</td><td>異常なきこと</td><td colspan="3"></td><td></td></tr>
<tr><td>外観・熱交換器</td><td>汚れ、破損等がないか目視にて確認</td><td>異常なきこと</td><td colspan="3"></td><td></td></tr>
</table>

【判定】 ○:良好 △:要処置(運転可能) ×:要処置(運転不可) ◎:処置後良好

注意)点検不要項目は ╲ を記入のこと

業務別紙4

		機種名	機番	系統名・設置場所
室内機	A室	FMYCJ112K	7003042	低圧電気室（No.1）
	B室	FMYCJ112K	7003049	低圧電気室（No.2）
	C室			
	D室			

点検項目		点検方法	基準	実測値		
室内機運転中	各コネクタ類	目視、手感にて確認	抜け、緩みなきこと	A室		
				B室		
	ショートサーキットの確認	化粧パネルと本体間の隙間、吹出方向障害物の確認	隙間、障害物のなきこと	A室		
				B室		
	吸込温度	サーミスタ温度計にて	－	A室	℃	
				B室	℃	
	吹出温度	サーミスタ温度計にて	－	A室	℃	
				B室	℃	
	吸込・吹出温度差	上記、吸込・吹出温度差	（冷房）8～12℃ （暖房）10～20℃	A室	℃	
				B室	℃	
	水漏れ確認	冷房で20分以上運転させて確認	水漏れなきこと	A室		
				B室		
その他	室内運転音	ファン付近、本体を聴感	異音なきこと	A室		
				B室		
	スイングフラップ	スムーズに動作するか、異音ないか確認	正常動作すること	A室		
				B室		
	エアフィルター	汚れ、破損の有無を確認	汚れ、破損なきこと	A室		
				B室		
	熱交換器	目視、臭感にて確認	汚れ、異臭なきこと	A室		
				B室		
	異常履歴	リモコンにて確認	履歴クリアすること	A室		
				B室		

【判定】　〇：良好　△：要処置（運転可能）　×：要処置（運転不可）　◎：処置後良好

注意）点検不要項目は［斜線］を記入のこと

業務別紙4

空冷ヒートポンプパッケージエアコン⑧

メーカー	ダイキン工業㈱製					
室内機	機種	FHYBJ71F	機番	6701225	系統名・設置場所	計量室
室外機	機種	RYJ71KE	機番	6800135	系統名・設置場所	計量室裏

	点検項目	点検方法	基準	実測値		判定
絶縁測定	圧縮機	500Vメガテスターにて測定	1MΩ以上		MΩ	
	クランクケースヒータ	500Vメガテスターにて測定	1MΩ以上		MΩ	
	室外ファン	ファン用コネクターを外して測定 500Vメガテスターにて測定	1MΩ以上	MF1	MΩ	
				MF2	MΩ	
	電源回路	500Vメガテスターにて測定(ブレーカ遮断のこと)	1MΩ以上		MΩ	
	室内外連絡線	500Vメガテスターにて測定 (ブレーカ遮断のこと)	1MΩ以上	1)	MΩ	
				2)	MΩ	
				3)	MΩ	
	室内電気ヒータ	500Vメガテスターにて測定	1MΩ以上		MΩ	
電気	端子・コネクタ類	目視、差込状態、ビス締付部を確認	抜け、緩みなきこと			
	ブレーカ容量	目視確認	定格容量のこと		A	
冷媒	ガス漏れ	リークテスターにて確認	漏れなきこと			
室外機運転中	電源電圧	各相間をテスターにて測定(運転中)	定格電圧の±10%以内 電圧降下なきこと	R-S	V	
				S-T	V	
				T-R	V	
	総合運転電流	クランプメーターにて測定(試運転モードにて)	定格電流の115%以下	R	A	
				S	A	
				T	A	
				インバータ	Hz	
	高圧圧力	ﾏﾆﾎｰﾙﾄﾞｹﾞｰｼﾞをｻｰﾋﾞｽﾎﾟｰﾄﾞに接続して測定	1.3～2.2MPa		MPa	
	低圧圧力	ﾏﾆﾎｰﾙﾄﾞｹﾞｰｼﾞをｻｰﾋﾞｽﾎﾟｰﾄﾞに接続して測定	0.3～0.65MPa		MPa	
	吐出管温度	サーミスタ温度計にて測定	40～115℃		℃	
	吸入管温度	サーミスタ温度計にて測定	-5～25℃		℃	
	外気温度(A)	サーミスタ温度計にて測定	-5～43℃		℃	
	吸込温度(B)	サーミスタ温度計にて測定	-		℃	
	吹出温度(C)	サーミスタ温度計にて測定	(B)+5℃以上		℃	
	ショートサーキット値	上記 (B)-(A)=⊿t℃にて測定	⊿tが5℃以内のこと		℃	
	異音・振動	ケーシング、ファン付近を聴感にて確認	異常なきこと			
	外観・熱交換器	汚れ、破損等ないか目視確認	異常なきこと			
室内機運転中	各コネクタ類	目視、手感にて差込状態確認	抜け、緩みなきこと			
	ショートサーキットの確認	化粧パネルと本体との隙間、吹出方向の障害物の確認	隙間、障害物のなきこと			
	吸込温度	サーミスタ温度計にて測定	-		℃	
	吹出温度	サーミスタ温度計にて測定	-		℃	
	吸込・吹出温度差	上記、吸込・吹出温度差	(冷房)8～12℃ (暖房)10～20℃		℃	
	水漏れ確認	冷房で20分以上サーモONした後確認	水漏れなきこと			
その他	室内運転音	ファン付近、本体を聴感にて確認	異音なきこと			
	スイングフラップ	スムーズに作動するか、異音ないか確認	正常作動のこと			
	エアフィルター	取外して汚れ、破損の有無を確認	汚れ、破損なきこと			
	熱交換器	目視、臭感にて確認	汚れ、異臭なきこと			
	異常履歴	リモコンにて確認	履歴消去のこと			

【判定】 ○:良好 △:要処置(運転可能) ×:要処置(運転不可) ◎:処置後良好

注意)点検不要項目は［斜線］を記入のこと

空冷ヒートポンプパッケージエアコン⑨

メーカー	ダイキン工業㈱製				
室内機	機種	FRYJ80P	機番	6800711	系統名・設置場所	選別室
室外機	機種	CRYJ80PE	機番	6600019	系統名・設置場所	（RF）

	点検項目	点検方法	基準	実測値		判定
絶縁測定	圧縮機	500Vメガテスターにて測定	1MΩ以上		MΩ	
	クランクケースヒータ	500Vメガテスターにて測定	1MΩ以上		MΩ	
	室外ファン	ファン用コネクターを外して測定 500Vメガテスターにて測定	1MΩ以上	MF1	MΩ	
				MF2	MΩ	
	電源回路	500Vメガテスターにて測定（ブレーカ遮断のこと）	1MΩ以上		MΩ	
	室内外連絡線	500Vメガテスターにて測定 （ブレーカ遮断のこと）	1MΩ以上	1）	MΩ	
				2）	MΩ	
				3）	MΩ	
	室内電気ヒータ	500Vメガテスターにて測定	1MΩ以上		MΩ	
電気	端子・コネクタ類	目視、差込状態、ビス締付部を確認	抜け、緩みなきこと			
	ブレーカ容量	目視確認	定格容量のこと		A	
冷媒	ガス漏れ	リークテスターにて確認	漏れなきこと			
室外機運転中	電源電圧	各相間をテスターにて測定（運転中）	定格電圧の±10%以内 電圧降下なきこと	R−S	V	
				S−T	V	
				T−R	V	
	総合運転電流	クランプメーターにて測定（試運転モードにて）	定格電流の115%以下	R	A	
				S	A	
				T	A	
				ｲﾝﾊﾞｰﾀ	Hz	
	高圧圧力	ﾏﾆﾎｰﾙﾄﾞｹﾞｰｼﾞをｻｰﾋﾞｽﾎﾟｰﾄﾞに接続して測定	1.3～2.2MPa		MPa	
	低圧圧力	ﾏﾆﾎｰﾙﾄﾞｹﾞｰｼﾞをｻｰﾋﾞｽﾎﾟｰﾄﾞに接続して測定	0.3～0.65MPa		MPa	
	吐出管温度	サーミスタ温度計にて測定	40～115℃		℃	
	吸入管温度	サーミスタ温度計にて測定	−5～25℃		℃	
	外気温度（A）	サーミスタ温度計にて測定	−5～43℃		℃	
	吸込温度（B）	サーミスタ温度計にて測定	−		℃	
	吹出温度（C）	サーミスタ温度計にて測定	（B）＋5℃以上		℃	
	ショートサーキット値	上記 （B）−（A）=⊿t℃にて測定	⊿tが5℃以内のこと		℃	
	異音・振動	ケーシング、ファン付近を聴感にて確認	異常なきこと			
	外観・熱交換器	汚れ、破損等ないか目視確認	異常なきこと			
室内機運転中	各コネクタ類	目視、手感にて差込状態確認	抜け、緩みなきこと			
	ショートサーキットの確認	化粧パネルと本体との隙間、吹出方向の障害物の確認	隙間、障害物のなきこと			
	ファンベルト	プーリー通芯点検、手押しによる確認	緩み・傷なきこと			
	吸込温度	サーミスタ温度計にて測定	−		℃	
	吹出温度	サーミスタ温度計にて測定	−		℃	
	吸込・吹出温度差	上記、吸込・吹出温度差	（冷房）8～12℃ （暖房）10～20℃		℃	
	水漏れ確認	冷房で20分以上サーモONした後確認	水漏れなきこと			
その他	室内運転音	ファン付近、本体を聴感にて確認	異音なきこと			
	スイングフラップ	スムーズに作動するか、異音ないか確認	正常作動のこと			
	エアフィルター	取外して汚れ、破損の有無を確認	汚れ、破損なきこと			
	熱交換器	目視、臭感にて確認	汚れ、異臭なきこと			
	異常履歴	リモコンにて確認	履歴消去のこと			

【判定】 ○：良好 △：要処置（運転可能） ×：要処置（運転不可） ◎：処置後良好

注意）点検不要項目は［斜線］を記入のこと

業務別紙4

ファンコイルユニット フィルター清掃

設置階	設置場所	設置台数	点検日			
			第1回目	第2回目	第3回目	第4回目
			／	／	／	／
1階	玄関ホール	3				
	見学者ホール	4				
	プラットホーム作業員室	1				
2階	見学者ホール	2				
	灰クレーン操作室	1				
3階	見学者ホール	6				
	事務所	2				
	応接室	1				
	廊下	6				
	リサイクル管理室	1				
	リサイクル運転員室	1				
	リサイクル工房	1				
	炉運転員室	1				
	大会議室	4				
	JFE事務所	1				
4階	作業員室	4				
	運転員室	3				
	研修室	4				
	司令室	1				
	会議室	1				
	医務室	1				
	組合事務所	1				
	乾燥室	1				

【記入】　〇:清掃

業務別紙5

空調熱源系統保守・点検・整備内容

点　検　系　統　名	熱源制御系統(ヘッダバイパス弁制御)
設　　置　　場　　所	4階機械室(CP-4-1)

機器名	型番	点検結果		作動状況
		(良)	(否)	
微差圧発信機	JTD930A1A1A1			ﾛｾﾞﾛ調整　ﾍｯﾀﾞ間差圧ﾚﾝｼﾞ　～　MPa
DC24V電源	RY7910D2001			DC　V
電子式指示調節器	R312GA0003000			設定　kPa　指示　kPa
ロータリー形電動二方弁	VY5110B0081			ヘッダーバイパス
調節器連動動作				
二方弁連動動作				全開・全閉・バランス
冷房・換気・暖房切替連動動作				CP-1 冷房時起動　HP-5暖房時起動 換気時ポンプ停止
インターロック連動動作				
チラー遠方発停				
【実測】現場温度計				℃

【　備　　考　】

業務別紙5

空調自動制御盤機器保守・点検・整備内容

点　検　系　統　名	熱源制御系統（温水送水温度制御）
設　　置　　場　　所	4階機械室（CP-4-1）

機器名	型番	点検結果		作動状況
		（良）	（否）	
挿入型温度検出器	TY7830B1015			温水往温度　　PT　　Ω
電子式指示調節器	R312GA000300			設定　　℃　　指示　　℃
				EV1　　HYS1　　（HP-2停止時）
				EV2　　HYS2　　（HP-5間欠用）
				P:　　I:　　D:
モジュトロールモータ	M904F1076			
弁リンゲージ	Q455C1052			
混合形三方弁	V5065A6050			
タイマー	H3CR			設定　　分　　（HP-5間欠停止用）
タイマー	H3CR			設定　　分　　（HP-5間欠運転用）
調節器連動動作				
三方弁連動動作				全開・全閉・バランス
暖房連動動作				温水ポンプ暖房時のみ起動
インターロック連動動作				三方弁強制開　HP-5（温水二次ポンプ）

【　備　　考　】

業務別紙5

空調自動制御盤機器保守・点検・整備内容

点　検　系　統　名	温水ヒーター監視制御系統
設　　置　　場　　所	3階機械室

機器名	型番	点検結果		作動状況
		（良）	（否）	
煤煙濃度計	GYY-S2000			警報設定　　　　　　%
感震器	V725			
煤煙濃度計連動動作				警報表示　監視盤
感震器連動動作				ボイラー強制停止　盤表示及びブザー

【　備　　考　】

業務別紙5

空調自動制御盤機器保守・点検・整備内容

点　検　系　統　名	オイルサービスタンク制御系統
設　　置　　場　　所	3階機械室

機器名	型番	点検結果		作動状況
		（良）	（否）	
液面調節器	SL-401			
電磁弁	ME6F-C0444C0			オイル補給遮断弁
電磁弁	KLM-BP-25			オイル補給弁
遅延タイマー	H3CR			ｵﾌﾃﾞｨﾚｰﾀｲﾏｰ設定　　　　　　秒
調節器連動動作				上下限一括警報
電磁弁連動動作				全開・全閉　下限警報時電磁弁　閉
遅延タイマー連動動作				ボイラー強制停止　盤表示及びブザー
電磁弁連動動作				全開・全閉

【　備　　考　】

業務別紙5

空調自動制御盤機器保守・点検・整備内容

点　検　系　統　名	外調機制御系統
設　　置　　場　　所	4階空調機械室(AHU-1)

機器名	型番	点検結果		作動状況
		(良)	(否)	
挿入型温度検出器	TY7800C1001			給気ダクト
電子式指示調節器	R312GA000300			設定　　℃　冷房(SP-0)指示　　℃ 設定　　℃　冷房(SP-0)指示　　℃
ロータリー電動二方弁	VY5110B0051			冷温水弁
調節器連動動作				
二方弁連動動作				全開・全閉・バランス　□　換気時強制閉
ロールフィルター連動動作				巻取り警報
冷房・換気・暖房切替連動動作				中央セレクトスイッチ
インターロック連動動作				二方弁強制　閉
【実測】現場温度計				℃

【　備　　考　】

業務別紙5

空調自動制御盤機器保守・点検・整備内容

<table>
<tr><td>点　検　系　統　名</td><td colspan="4">ファンコイルユニット制御系統（1／8）</td></tr>
<tr><td>設　置　場　所</td><td colspan="4">1階玄関・見学者ホール</td></tr>
<tr><td rowspan="2">機器名</td><td rowspan="2">型番</td><td colspan="2">点検結果</td><td rowspan="2">作動状況</td></tr>
<tr><td>（良）</td><td>（否）</td></tr>
<tr><td>室内形温度検出器</td><td>T6065A</td><td></td><td></td><td>設定　℃　作動点　℃　冷房</td></tr>
<tr><td>室内形温度検出器</td><td>T6065A</td><td></td><td></td><td>設定　℃　暖房</td></tr>
<tr><td colspan="2">二方弁連動動作</td><td></td><td></td><td>開閉　□ 換気時強制　閉　4台連動</td></tr>
<tr><td colspan="2">冷暖切替連動動作</td><td></td><td></td><td>中央セレクトスイッチ</td></tr>
<tr><td colspan="2">風量切替連動動作</td><td></td><td></td><td>L ・ M ・ H</td></tr>
<tr><td colspan="2">インターロック連動動作</td><td></td><td></td><td>二方弁強制　閉</td></tr>
<tr><td colspan="2">【実測】現場温度計</td><td></td><td></td><td>℃</td></tr>
<tr><td>設　置　場　所</td><td colspan="4">1階玄関ホール</td></tr>
<tr><td rowspan="2">機器名</td><td rowspan="2">型番</td><td colspan="2">点検結果</td><td rowspan="2">作動状況</td></tr>
<tr><td>（良）</td><td>（否）</td></tr>
<tr><td>室内形温度検出器</td><td>T6065A</td><td></td><td></td><td>設定　℃　作動点　℃　冷房</td></tr>
<tr><td>室内形温度検出器</td><td>T6065A</td><td></td><td></td><td>設定　℃　暖房</td></tr>
<tr><td colspan="2">二方弁連動動作</td><td></td><td></td><td>開閉　□ 換気時強制　閉　3台連動</td></tr>
<tr><td colspan="2">冷暖切替連動動作</td><td></td><td></td><td>中央セレクトスイッチ</td></tr>
<tr><td colspan="2">風量切替連動動作</td><td></td><td></td><td>L ・ M ・ H</td></tr>
<tr><td colspan="2">インターロック連動動作</td><td></td><td></td><td>二方弁強制　閉</td></tr>
<tr><td colspan="2">【実測】現場温度計</td><td></td><td></td><td>℃</td></tr>
<tr><td>設　置　場　所</td><td colspan="4">1階プラットホーム作業員室</td></tr>
<tr><td rowspan="2">機器名</td><td rowspan="2">型番</td><td colspan="2">点検結果</td><td rowspan="2">作動状況</td></tr>
<tr><td>（良）</td><td>（否）</td></tr>
<tr><td>室内形温度検出器</td><td>T6065A</td><td></td><td></td><td>設定　℃　作動点　℃　冷房</td></tr>
<tr><td>室内形温度検出器</td><td>T6065A</td><td></td><td></td><td>設定　℃　暖房</td></tr>
<tr><td colspan="2">二方弁連動動作</td><td></td><td></td><td>開閉　□ 換気時強制　閉　1台</td></tr>
<tr><td colspan="2">冷暖切替連動動作</td><td></td><td></td><td>中央セレクトスイッチ</td></tr>
<tr><td colspan="2">風量切替連動動作</td><td></td><td></td><td>L ・ M ・ H</td></tr>
<tr><td colspan="2">インターロック連動動作</td><td></td><td></td><td>二方弁強制　閉</td></tr>
<tr><td colspan="2">【実測】現場温度計</td><td></td><td></td><td>℃</td></tr>
</table>

業務別紙5

点　検　系　統　名	ファンコイルユニット制御系統（2／8）			
設　置　場　所	2階灰クレーン操作室			
機器名	型番	点検結果		作動状況
		（良）	（否）	
室内形温度検出器	T6065A			設定　℃　作動点　℃　冷房
室内形温度検出器	T6065A			設定　℃　暖房
二方弁連動動作				開閉　□ 換気時強制　閉　1台
冷暖切替連動動作				中央セレクトスイッチ
風量切替連動動作				L ・ M ・ H
インターロック連動動作				二方弁強制　閉
【実測】現場温度計				℃
設　置　場　所	2階見学者ホール			
機器名	型番	点検結果		作動状況
		（良）	（否）	
室内形温度検出器	T6065A			設定　℃　作動点　℃　冷房
室内形温度検出器	T6065A			設定　℃　暖房
二方弁連動動作				開閉　□ 換気時強制　閉　2台連動
冷暖切替連動動作				中央セレクトスイッチ
風量切替連動動作				L ・ M ・ H
インターロック連動動作				二方弁強制　閉
【実測】現場温度計				℃
設　置　場　所	3階見学者ホール			
機器名	型番	点検結果		作動状況
		（良）	（否）	
室内形温度検出器	T6065A			設定　℃　作動点　℃　冷房
室内形温度検出器	T6065A			設定　℃　暖房
二方弁連動動作				開閉　□ 換気時強制　閉　6台連動
冷暖切替連動動作				中央セレクトスイッチ
風量切替連動動作				L ・ M ・ H
インターロック連動動作				二方弁強制　閉
【実測】現場温度計				℃

業務別紙5

点　検　系　統　名	ファンコイルユニット制御系統（3／8）			
設　置　場　所	3階大会議室			
機器名	型番	点検結果		作動状況
		（良）	（否）	
室内形温度検出器	T6065A			設定　℃　作動点　℃　冷房
室内形温度検出器	T6065A			設定　℃　暖房
二方弁連動動作				開閉　☐ 換気時強制　閉　4台連動
冷暖切替連動動作				中央セレクトスイッチ
風量切替連動動作				L ・ M ・ H
インターロック連動動作				二方弁強制　閉
【実測】現場温度計				℃
設　置　場　所	3階リサイクル管理室			
機器名	型番	点検結果		作動状況
		（良）	（否）	
室内形温度検出器	T6065A			設定　℃　作動点　℃　冷房
室内形温度検出器	T6065A			設定　℃　暖房
二方弁連動動作				開閉　☐ 換気時強制　閉　1台
冷暖切替連動動作				中央セレクトスイッチ
風量切替連動動作				L ・ M ・ H
インターロック連動動作				二方弁強制　閉
【実測】現場温度計				℃
設　置　場　所	3階リサイクル工房			
機器名	型番	点検結果		作動状況
		（良）	（否）	
室内形温度検出器	T6065A			設定　℃　作動点　℃　冷房
室内形温度検出器	T6065A			設定　℃　暖房
二方弁連動動作				開閉　☐ 換気時強制　閉　1台
冷暖切替連動動作				中央セレクトスイッチ
風量切替連動動作				L ・ M ・ H
インターロック連動動作				二方弁強制　閉
【実測】現場温度計				℃

業務別紙5

点　検　系　統　名	ファンコイルユニット制御系統（4／8）			
設　置　場　所	3階JFE事務所			
機器名	型番	点検結果		作動状況
		（良）	（否）	
室内形温度検出器	T6065A			設定　℃　作動点　℃　冷房
室内形温度検出器	T6065A			設定　℃　暖房
二方弁連動動作				開閉　☐ 換気時強制　閉　1台
冷暖切替連動動作				中央セレクトスイッチ
風量切替連動動作				L ・ M ・ H
インターロック連動動作				二方弁強制　閉
【実測】現場温度計				℃
設　置　場　所	3階男子更衣室			
機器名	型番	点検結果		作動状況
		（良）	（否）	
室内形温度検出器	T6065A			設定　℃　作動点　℃　冷房
室内形温度検出器	T6065A			設定　℃　暖房
二方弁連動動作				開閉　☐ 換気時強制　閉　1台
冷暖切替連動動作				中央セレクトスイッチ
風量切替連動動作				L ・ M ・ H
インターロック連動動作				二方弁強制　閉
【実測】現場温度計				℃
設　置　場　所	3階リサイクル運転員室			
機器名	型番	点検結果		作動状況
		（良）	（否）	
室内形温度検出器	T6065A			設定　℃　作動点　℃　冷房
室内形温度検出器	T6065A			設定　℃　暖房
二方弁連動動作				開閉　☐ 換気時強制　閉　1台
冷暖切替連動動作				中央セレクトスイッチ
風量切替連動動作				L ・ M ・ H
インターロック連動動作				二方弁強制　閉
【実測】現場温度計				℃

業務別紙5

点　検　系　統　名	ファンコイルユニット制御系統（5／8）			
設　置　場　所	3階事務所・応接室			
機器名	型番	点検結果		作動状況
		（良）	（否）	
室内形温度検出器	T6065A			設定　℃　作動点　℃　冷房
室内形温度検出器	T6065A			設定　℃　暖房
二方弁連動動作				開閉　□ 換気時強制 閉 3台連動
冷暖切替連動動作				中央セレクトスイッチ
風量切替連動動作				L ・ M ・ H
インターロック連動動作				二方弁強制 閉
【実測】現場温度計				℃
設　置　場　所	3階見学ホール・廊下			
機器名	型番	点検結果		作動状況
		（良）	（否）	
室内形温度検出器	T6065A			設定　℃　作動点　℃　冷房
室内形温度検出器	T6065A			設定　℃　暖房
二方弁連動動作				開閉　□ 換気時強制 閉 1台
冷暖切替連動動作				中央セレクトスイッチ
風量切替連動動作				L ・ M ・ H
インターロック連動動作				二方弁強制 閉
【実測】現場温度計				℃
設　置　場　所	3階EVホール・廊下			
機器名	型番	点検結果		作動状況
		（良）	（否）	
室内形温度検出器	T6065A			設定　℃　作動点　℃　冷房
室内形温度検出器	T6065A			設定　℃　暖房
二方弁連動動作				開閉　□ 換気時強制 閉 5台連動
冷暖切替連動動作				中央セレクトスイッチ
風量切替連動動作				L ・ M ・ H
インターロック連動動作				二方弁強制 閉
【実測】現場温度計				℃

業務別紙5

点　検　系　統　名	ファンコイルユニット制御系統（6／8）			
設　置　場　所	4階作業員室			
機器名	型番	点検結果		作動状況
		（良）	（否）	
室内形温度検出器	T6065A			設定　℃　作動点　℃　冷房
室内形温度検出器	T6065A			設定　℃　暖房
二方弁連動動作				開閉　□ 換気時強制　閉　4台連動
冷暖切替連動動作				中央セレクトスイッチ
風量切替連動動作				L ・ M ・ H
インターロック連動動作				二方弁強制　閉
【実測】現場温度計				℃
設　置　場　所	4階運転員室			
機器名	型番	点検結果		作動状況
		（良）	（否）	
室内形温度検出器	T6065A			設定　℃　作動点　℃　冷房
室内形温度検出器	T6065A			設定　℃　暖房
二方弁連動動作				開閉　□ 換気時強制　閉　3台連動
冷暖切替連動動作				中央セレクトスイッチ
風量切替連動動作				L ・ M ・ H
インターロック連動動作				二方弁強制　閉
【実測】現場温度計				℃
設　置　場　所	4階研修室			
機器名	型番	点検結果		作動状況
		（良）	（否）	
室内形温度検出器	T6065A			設定　℃　作動点　℃　冷房
室内形温度検出器	T6065A			設定　℃　暖房
二方弁連動動作				開閉　□ 換気時強制　閉　4台連動
冷暖切替連動動作				中央セレクトスイッチ
風量切替連動動作				L ・ M ・ H
インターロック連動動作				二方弁強制　閉
【実測】現場温度計				℃

業務別紙5

点　検　系　統　名	ファンコイルユニット制御系統（7／8）			
設　　置　　場　　所	4階保健室（研修室横）			
機器名	型番	点検結果		作動状況
		（良）	（否）	
室内形温度検出器	T6065A			設定　　℃　　作動点　　℃　冷房
室内形温度検出器	T6065A			設定　　℃　　暖房
二方弁連動動作				開閉　□ 換気時強制　閉　1台
冷暖切替連動動作				中央セレクトスイッチ
風量切替連動動作				L ・ M ・ H
インターロック連動動作				二方弁強制　閉
【実測】現場温度計				℃
設　　置　　場　　所	4階パトロール班（医務室）			
機器名	型番	点検結果		作動状況
		（良）	（否）	
室内形温度検出器	T6065A			設定　　℃　　作動点　　℃　冷房
室内形温度検出器	T6065A			設定　　℃　　暖房
二方弁連動動作				開閉　□ 換気時強制　閉　1台
冷暖切替連動動作				中央セレクトスイッチ
風量切替連動動作				L ・ M ・ H
インターロック連動動作				二方弁強制　閉
【実測】現場温度計				℃
設　　置　　場　　所	4階組合事務所			
機器名	型番	点検結果		作動状況
		（良）	（否）	
室内形温度検出器	T6065A			設定　　℃　　作動点　　℃　冷房
室内形温度検出器	T6065A			設定　　℃　　暖房
二方弁連動動作				開閉　□ 換気時強制　閉　1台
冷暖切替連動動作				中央セレクトスイッチ
風量切替連動動作				L ・ M ・ H
インターロック連動動作				二方弁強制　閉
【実測】現場温度計				℃

業務別紙5

点　検　系　統　名	ファンコイルユニット制御系統（8／8）			
設　置　場　所	4階司令室			
機器名	型番	点検結果		作動状況
		（良）	（否）	
室内形温度検出器	T6065A			設定　℃　作動点　℃　冷房
室内形温度検出器	T6065A			設定　℃　暖房
二方弁連動動作				開閉　□ 換気時強制　閉　1台
冷暖切替連動動作				中央セレクトスイッチ
風量切替連動動作				L ・ M ・ H
インターロック連動動作				二方弁強制　閉
【実測】現場温度計				℃

【 備　考 】

業務別紙5

空調自動制御盤機器保守・点検・整備内容

点　検　系　統　名	ポンプ発停制御系統
設　　置　　場　　所	4階乾燥室

機器名	型番	点検結果		作動状況
		（良）	（否）	
温度調節器	T6065A			設定　　　℃　　　　　作動点　　　℃ ポンプ発停
調節器連動動作				
ポンプ発停連動動作				HP-4（温水二次ポンプ　乾燥室暖房系統） 3P-1　動力盤
【実測】現場温度計				℃

【　備　　考　】

業務別紙5

空調自動制御盤機器保守･点検･整備内容

点　検　系　統　名	受水槽制御系統
設　　置　　場　　所	地下2階

機器名	型番	点検結果		作動状況
		（良）	（否）	
電極5P				
電極連動動作				上下限警報（加圧給水ポンプユニットより）

【　備　　考　】

業務別紙5

空調自動制御盤機器保守･点検･整備内容

点　検　系　統　名	水槽水位監視制御系統（1／2）
設　　置　　場　　所	膨張タンク 屋上

機器名	型番	点検結果		作動状況
		（良）	（否）	
フロートレススイッチ	WLS211B300			CP-4-1
タイマー	H3Y			設定　　　秒　（満警報）　TM1
タイマー	H3Y			設定　　　秒　（減警報）　TM2
フロートレススイッチ連動動作				上下限警報

【 備　考 】

業務別紙5

点　検　系　統　名	水槽水位監視制御系統（2／2）
設　　置　　場　　所	消火用補給水槽　4階外

機器名	型番	点検結果		作動状況
		（良）	（否）	
フロートレススイッチ	WLS211B300			CP-4-1
タイマー	H3Y			設定　　　秒　（満警報）　TM1
タイマー	H3Y			設定　　　秒　（減警報）　TM2
フロートレススイッチ連動動作				上下限警報
火報盤連動動作				下限警報　防災監視盤　消火栓高架水槽減水

【　備　　考　】

業務別紙5

空調自動制御盤機器保守･点検･整備内容

点　検　系　統　名	貯湯槽制御系統
設　　置　　場　　所	2階灰クレーン操作室横

機器名	型番	点検結果		作動状況
		（良）	（否）	
挿入形温度検出器	TY830B1030			
電子式指示調節器	R310DA000100			設定　℃　ポンプ発停(PH−1)
				指示　℃
				EV−1　℃　下限警報
				EV−2　℃　高温警報　ポンプ強制停止
				DIFF　HYS1　HYS2
調整器連動動作				上下限警報
ポンプ発停連動動作				昇温用　PH−1(給湯一次ポンプ)
高温時ポンプ停止連動動作				PH−1(EV−2)
【実測】貯湯槽現場温度計				℃

【　備　　考　】

業務別紙5

空調自動制御盤機器保守・点検・整備内容

点　検　系　統　名	ファン発停制御系統			
設　置　場　所	地下2階エレベーター機械室			
機器名	型番	点検結果		作動状況
		（良）	（否）	
室内形温度調節器	T631C1046			設定　　℃　　作動点　　℃
調整器連動動作				FS-B2-1　FE-B2-1
【実測】室内温度				℃
設　置　場　所	1階エレベーター機械室			
機器名	型番	点検結果		作動状況
		（良）	（否）	
室内形温度調節器	T631C1046			設定　　℃　　作動点　　℃
調整器連動動作				FE-1-5
【実測】室内温度				℃
設　置　場　所	2階電気室			
機器名	型番	点検結果		作動状況
		（良）	（否）	
室内形温度調節器	T631C1046			設定　　℃　　作動点　　℃
調整器連動動作				FS2-1　FE-2-1
【実測】室内温度				℃
設　置　場　所	3階ごみクレーン電気室			
機器名	型番	点検結果		作動状況
		（良）	（否）	
室内形温度調節器	T631C1046			設定　　℃　　作動点　　℃
調整器連動動作				FE-1-5
【実測】室内温度				℃
【　備　　考　】				

業務別紙5

空調自動制御盤機器保守・点検・整備内容

点　検　系　統　名	熱源温水制御系統
設　　置　　場　　所	3階機械室　温水タンクHT-1

機器名	型番	点検結果		作動状況
		（良）	（否）	
挿入形温度検出器	TY7830B1015			
電子式指示調節器	R310DA000500			設定　　　℃　プラントへ計測出力
				ポンプ発停（HP-1）
				指示　　　℃
				EV-1　　　℃　（未使用）　FIL
				EV-2　　　℃　高温時ポンプ強制停止
				DIFF　　HYS1　　HYS2
電極5P				
フロートレススイッチ	WLS261B300			
小型電動ボール弁	VY6010A2010			補給水弁
タイマー	H3Y			設定　　　秒　上限警報ハンチング防止TM1
タイマー	H3Y			設定　　　秒　下限警報ハンチング防止TM2
調整器連動動作				HP-1停止
ポンプ発停連動動作				温水槽昇温用　HP-1（温水一次ポンプ）
高温時ポンプ停止連動動作				HP-1（温水一次）HP-2（温水二次） HP-3（温水二次）HP-4（温水二次）　強制停止
電極連動動作				上下限警報
電動ボール弁連動動作				補給水弁　開・閉
空転防止連動動作				HP-1,HP-2,HP-3,HP-4　渇水停止
【実測】現場温度（ボイラー入口）				℃

【　備　　考　】

業務別紙5

空調自動制御盤機器保守･点検･整備内容

点 検 系 統 名		中央監視制御系統（スマートタッチ）（1／2）				
設　置　場　所		中央制御室				
【熱源設備】						
盤名	記号	名称	状態	警報	良否	備考
機側盤	C-1	空冷式ﾁｰﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄ状態	○			4F機械室外　10,12
機側盤	C-1	空冷式ﾁｰﾘﾝｸﾞﾕﾆｯﾄ一括警報		○		4F機械室外　10,11
CP-4-1	CP-1	冷水ﾎﾟﾝﾌﾟ	○			熱交換器室
機側盤	BH-1	無圧開放式温水ﾋｰﾀｰ状態	○			3F機械室外　ﾎﾞｲﾗｰ運転
機側盤	BH-1	無圧開放式温水ﾋｰﾀｰ一括警報		○		3F機械室外　ﾎﾞｲﾗｰ警報
CP-3-1	HT-1	温水ﾀﾝｸ満減水一括警報		○		熱源用 ﾊﾝﾁﾝｸﾞﾀｲﾏｰ有り ﾎﾟﾝﾌﾟ停止有り E5,E2,E4
CP-3-1		排煙濃度警報		○		本体
CP-4-1	ET-1	膨張ﾀﾝｸ満減水一括警報		○		4F屋上 ﾊﾝﾁﾝｸﾞﾀｲﾏｰ有り 31,32
CP-4-2		ﾌｨﾙﾀｰ巻取り警報		○		本体21-22
【動力関係】						
B2P-1		動力盤一括警報		○		B2P1A,B2P1B
B1P-1		〃		○		地下通路
B1P-2		〃		○		B1F　駐車場奥ﾀﾞｸﾄ室 B1P2A,B1P2B
B1P-3		〃		○		B1F　駐車場奥 ｺﾝﾍﾞｱ室
B1P-4		〃		○		消火栓ﾎﾟﾝﾌﾟ室
B1P-5		〃		○		泡消火機械室
1P-1		〃		○		1F 炉室内入口
1P-2		〃		○		ﾌﾟﾗｯﾄﾎｰﾑ入口 1P2A,1P2B
1P-3		〃		○		缶投入入口奥ｼｬｯﾀｰ前 1P3A,1P3B
2P-1		〃		○		貯湯槽機械室
3P-1		〃		○		炉室奥ﾎﾞｲﾗｰ室
4P-1		〃		○		熱交換器室
4P-2		〃		○		空調機械室

業務別紙5

点検系統名	中央監視制御系統（スマートタッチ）（2／2）					
設置場所	中央制御室					
【衛生関係】						
盤名	記号	名称	状態	警報	良否	備考
ﾕﾆｯﾄ盤	T-1	受水槽(上下)満減水一括警報		○		生活用水 WCM-B5
ﾕﾆｯﾄ盤	PU-1	給水ﾎﾟﾝﾌﾟﾕﾆｯﾄ状態	○			ACM-A1,A2
ﾕﾆｯﾄ盤	PU-1	給水ﾎﾟﾝﾌﾟﾕﾆｯﾄ警報		○		BCM-B1,B2
B1P-3	(PD-5)	ﾄﾞﾗｲｴﾘｱ排水ﾋﾟｯﾄﾚﾍﾞﾙ警報		○		No.3 11CG-11CH
B1P-3	(PD-5)	ﾄﾞﾗｲｴﾘｱ排水ﾋﾟｯﾄﾚﾍﾞﾙ警報		○		No.2 11BG-12BH
B1P-2	(PD-5)	ﾄﾞﾗｲｴﾘｱ排水ﾋﾟｯﾄﾚﾍﾞﾙ警報		○		No.1 17CG-17CH
1P-2	(PD-2)	ﾄﾗｯｸｽｹｰﾙﾋﾟｯﾄﾚﾍﾞﾙ警報		○		24BG-24BH
B1P-1	(PD-3)	煙道排水ﾋﾟｯﾄﾚﾍﾞﾙ警報		○		19BG-19BH
1P-1	(PD-1)	屋外汚水槽ﾚﾍﾞﾙ警報		○		11Q-11H
B1P-2	(PD-4)	汚泥装置室排水ﾋﾟｯﾄﾚﾍﾞﾙ警報		○		17BG-17BH
浄化槽		浄化槽一括警報		○		本体盤 A1,A2 外
CP-3-1	OST-1	ｵｲﾙｻｰﾋﾞｽﾀﾝｸ満減一括警報		○		
CP-2-1	HST-1	貯湯槽温度上下限一括警報		○		EV1下限 EV2上限 PV値
【空調関係】						
本体		電気室ﾊﾟｯｹｰｼﾞ一括警報		○		W3-W4 2F 誘引送風機制御盤上ｴｱｺﾝ
ｽﾏｰﾄﾀｯﾁﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟﾊﾞｯﾃﾘｰ 交換時期						年　　月
【 備 考 】						

業務別紙6

貯水槽点検表 （1／2）

建築物名称	熱海市「エコ・プラント姫の沢」			
所在地	熱海市熱海笹尻1804－8			
法の適用	1. 特定建築物 2. 簡易専用水道 (3.) その他			
作業責任者	免許番号			
作業者				
作業日時	平成 年 月 日（ ） 天候 （ ）			
作業時間	時 分 ～ 時 分			
断水日時	平成 年 月 日（ ） 時 分 ～ 平成 年 月 日（ ） 時 分			
使用機器・機械				
槽名称	容量	材質	構造	設置場所
貯水槽（受水槽） （T－1）	2.0×8.0×1.0(0.6) 16.0㎥（9.6㎥）	FRP	パネル	屋内基礎上 （B2階）

所見

業務別紙6

貯水槽点検表（2／2）

清掃作業工程

（　：　）　（　：　）　（　：　）（　：　）（　：　）（　：　）　（　：　）

作業前準備	排水	清掃	消毒	水張	点検整備

槽内消毒	薬剤名			
	使用方法	希釈　倍　最終濃度　mg/ℓ　使用量　g		
	回数	1回目	2回目	
	放置時間	分間	分間	

作業前残留塩素濃度＝　mg/ℓ	採水場所　＝
作業後残留塩素濃度＝　mg/ℓ	採水場所　＝

作業後	色度	濁度	臭気	味
基準	5度以下	2度以下	異常でないこと	異常でないこと
測定値				

	点検項目	判定	状況
構造等	点検・清掃が容易で衛生的な場所		
	排水槽などの影響		
	適切な容量		
	連通管の位置、受水口と揚水口の位置		
	ﾏﾝﾎｰﾙの数・位置・大きさ・立上げ・防水・施錠など		
	上部配管ｽﾘｰﾌﾞ（揚水管貫通部）の密閉・立上げ		
	吐水口・排水口空間の確保		
	ｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ管・通気管の防虫網		
	外部からの汚染されるような開口部		
	槽内及び槽直上部給水管以外の配管		
	ｸﾛｽｺﾈｸｼｮﾝ（他の配管設備との連結）		
維持管理	槽周辺部に槽内の水質を汚染させるようなものをおいていないか		
	ﾎﾟﾝﾌﾟ室等清掃・整備		
	槽内に錆・沈渣・油・異物・浮遊物・亀裂・水垢・塗装のはがれなど		
	内部ｽﾃｰ（支柱）の状況		
	電極棒・ﾌﾛｰﾄｽｲｯﾁの状況		
	満減水警報装置の作動状況		
	給水ﾎﾟﾝﾌﾟの状況		
	ﾌｰﾄ弁・ｻｸｼｮﾝﾊﾟｲﾌﾟの状況		
	構内梯子の発錆・水垢・腐食の状況		
	給水装置（FMﾊﾞﾙﾌﾞ）の状況		

備考（所見等）

業務別紙6

点検機器名称	給水加圧ポンプ			メーカー名	エバラ
設置場所	B2階			型式	40BWBMD3.7A
点検年月日	平成　年　月　日				
保守・点検・整備内容		点検結果		備考	
		良	否		
1	軸封部漏れ			（メカニカルシール）	
2	芯出状態				
3	軸受潤滑油状態				
4	運転音				
5	振動				
6	絶縁			MΩ	
7	電流値			定格電流:　15.2A　No.1:　A　No.2　A	
8	吐出圧力			No.1:　No.2:	
9	制御盤点検				
10	外観調査				

点検写真

業務別紙6

点　検　機　器　名　称			温水ヒーター(BH-1)			メーカー名	昭和
設　置　場　所			3階			型　式	SV-6504K-C
点　検　年　月　日			平成　年　月　日				
清掃・点検・整備内容				点検結果		備　考	
				良	否		
定期点検 2回／年	1	燃焼ガス測					
	2	ダンパー調整					
	3	油圧測定、各部油漏れ点検				MPa	
	4	安全装置点検					
	5	感震器作動点検					
	6	バーナー運転作動点検				定格電流:　A 運転電流:　A	
	7	電気系統、各ｲﾝﾀｰﾛｯｸ点検					
	8	真空度点検					
	9	抽気作動点検					
	10	ノズル、電極清掃・点検					
オーバーホール 1回／年	1	缶体燃焼室内部清掃、点検					
	2	オイルストレーナー清掃					
	3	安全弁点検				MPa	
	4	二次側配管流量測定					
	5	補給水ストレーナー清掃					
	6	バーナーファン、スクロール清掃				定格電流:　A 運転電流:　A	
	7	オイルポンプノズルユニット分解清掃					
	1	煙道清掃					

業務別紙6

貯　湯　槽　点　検　表

建築物名称	熱海市「エコ・プラント姫の沢」			
所在地	熱海市熱海笹尻1804−8			
法の適用	1.　特定建築物　2.　簡易専用水道　(3.)　その他			
作業責任者	免許番号			
作業者				
作業日時	平成　年　月　日（　）　天候　（　）			
作業時間	時　分　～　時　分			
断水日時 （断水　有・(無)）	平成　年　月　日（　）　時　分 ～ 平成　年　月　日（　）　時　分			
使用機器・機械				
槽名称	容量	材質	構造	設置場所
貯湯槽（HST−1）	6.0㎥	ステンレス	パネル	屋内基礎上（2階）

点検内容	
箇所	実施状況
外観	
壁面	
床面	
その他	

所見

業務別紙6

温　水　タ　ン　ク　点　検　表

建築物名称	熱海市「エコ・プラント姫の沢」			
所在地	熱海市熱海笹尻1804－8			
法の適用	1.　特定建築物　2.　簡易専用水道　(3.)　その他			
作業責任者	免許番号			
作業者				
作業日時	平成　年　月　日（　）　天候　（　）			
作業時間	時　分　～　時　分			
断水日時 （断水　有・(無)）	平成　年　月　日（　）　時　分 ～ 平成　年　月　日（　）　時　分			
使用機器・機械				
槽名称	容量	材質	構造	設置場所
温水ﾀﾝｸ（HT－1）	6..3㎥	ステンレス	パネル	屋内基礎上（3階）

点検内容	
箇所	実施状況
外観	
壁面	
床面	
その他	

所見

業務別紙6

<table>
<tr><th colspan="5">膨 張 タ ン ク （ 給 湯 用 ） 点 検 表</th></tr>
<tr><td>建 築 物 名 称</td><td colspan="4">熱海市「エコ・プラント姫の沢」</td></tr>
<tr><td>所 在 地</td><td colspan="4">熱海市熱海笹尻1804－8</td></tr>
<tr><td>法 の 適 用</td><td colspan="4">1. 特定建築物 2. 簡易専用水道 (3.) その他</td></tr>
<tr><td>作 業 責 任 者</td><td colspan="4">免 許 番 号</td></tr>
<tr><td>作 業 者</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>作 業 日 時</td><td colspan="4">平成 年 月 日（ ） 天 候 （ ）</td></tr>
<tr><td>作 業 時 間</td><td colspan="4">時 分 ～ 時 分</td></tr>
<tr><td>断 水 日 時
（断 水 有・(無)）</td><td colspan="4">平成 年 月 日（ ） 時 分
～
平成 年 月 日（ ） 時 分</td></tr>
<tr><td>使 用 機 器・機 械</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>槽 名 称</td><td>容 量</td><td>材 質</td><td>構 造</td><td>設 置 場 所</td></tr>
<tr><td>膨張ﾀﾝｸ(給湯用)</td><td>290ﾘｯﾄﾙ</td><td>ステンレス</td><td>密閉式</td><td>屋内基礎上(2階)</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="5">点 検 内 容</td></tr>
<tr><td>箇 所</td><td colspan="4">実 施 状 況</td></tr>
<tr><td>外 観</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>壁 面</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>床 面</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>そ の 他</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td colspan="5">所 見</td></tr>
</table>

業務別紙6

膨張タンク（空調用）点検表

建築物名称	熱海市「エコ・プラント姫の沢」			
所在地	熱海市熱海笹尻1804－8			
法の適用	1. 特定建築物 2. 簡易専用水道 (3.) その他			
作業責任者	免許番号			
作業者				
作業日時	平成 年 月 日（ ） 天候 （ ）			
作業時間	時 分 ～ 時 分			
断水日時 （断水 有・(無)）	平成 年 月 日（ ） 時 分 ～ 平成 年 月 日（ ） 時 分			
使用機器・機械				
槽名称	容量	材質	構造	設置場所
膨張ﾀﾝｸ（空調用）	1.0㎥	ステンレス	パネル	屋内基礎上（屋上）

点検内容	
箇所	実施状況
外観	
壁面	
床面	
その他	
所見	

業務別紙7

自家用電気工作物精密年次点検内容

１. 高圧盤

１）盤全体
・据付状態の確認
・異音、異臭、異物、汚損の有無
・各部の清掃
・塗装の剥離、錆の発生状態
・換気扇、換気口（フィルターの状態）

２）表面取付器具
・表面取付器具の状態と破損の有無
・操作ハンドル、ボタンスイッチのせり、端子の緩みの有無
・計器内部の塵埃、水滴の有無

３）盤内
・導体の変色、変形、発錆の有無
・計器用変成器の変色、変形の有無
・電磁接触器、配線用遮断機の異常の有無
・配線の損傷、結束の状態
・各端子部の緩みの有無

２. 低圧盤（建築付帯電器設備も含む）

１）盤全体
・据付状態の確認
・異音、異臭、異物、汚損の有無
・各部の清掃
・塗装の剥離、錆の発生状態
・換気扇、換気口（フィルターの状態）

２）表面取付器具
・表面取付器具の状態と破損の有無
・操作ハンドル、ボタンスイッチのせり、端子の緩みの有無
・計器内部の塵埃、水滴の有無

３）盤内
・導体の変色、変形、発錆の有無
・計器用変成器の変色、変形の有無
・電磁接触器、配線用遮断機の異常の有無
・配線の損傷、結束の状態
・各端子部の緩みの有無

３. 高圧機器

１）断路器

（１）機器　　7.2kV　400A（手動）　1台

（２）点検内容
・フックのかかり、せりの有無
・接触部の状態、アクションの有無
・碍子の破損、亀裂の有無
・各部緩みの有無
・清掃

（３）測定装置
・絶縁抵抗測定

（４）操作装置
・各部緩みの有無
・操作装置の動作状態

2）遮断機
（1）機器　型式：VJ-1定格：7.2kV,600A,12.5kA 6台
（2）点検内容
・手動投入、手動引き外し動作確認
・引き外し自動動作確認
・開閉表示器、カウンター、インターロック、シャッター動作確認
・各部全般の清掃
（3）測定試験（※1）
・絶縁抵抗測定
・耐電圧試験（真空チェック）
・最低動作電圧測定
（4）分解精密点検（※1）

3）計器用変圧器
（1）機器定格　電気室 6600／110V,200VA 1セル
（2）点検内容
・絶縁物の汚損、変色亀裂の有無
・錆の有無
・碍子の破損、亀裂の有無
・各部緩みの有無
・導電部変色の有無
・清掃
（3）測定試験
・絶縁抵抗値測定

4）コンデンサ・リアクトル
（1）機器定格　200Kvar,6600V　4台
17.4Kvar,6600V　4台
（2）点検内容
・各部締め付けボルト類の締め付け状態
・異音、過熱の有無
・本体外観の発錆、塗装の剥離、損傷の有無
・コンデンサーケースの異常な膨張の有無
・リアクトルコイル表面の変色、損傷の有無
・接地線の緩みの有無
・清掃
（3）測定試験
・絶縁抵抗測定

5）変圧器
（1）機器定格　500kVA,3Φ,6600/210V　2台
1500kVA,1Φ, 6600/210-105V　1台
750kVA,3Φ,6600/420V　2台
（2）点検内容
・絶縁物の変色、破損の有無
・コイルの放電痕跡の有無
・各部締め付けボルト類の締め付け状態
・異音、異臭の有無
・各部の清掃
（3）測定試験
・絶縁抵抗測定

6）高圧真空電磁接触器
（1）機器　型式：VSN 定格：6.6kV,200A,4kA 4台
（2）点検内容
・手動投入、手動引き外し動作確認
・開閉表示器、カウンター、インターロック、シャッター動作確認
・各部全般の清掃
（3）測定試験（※2）
・絶縁抵抗測定
・耐電圧試験（真空チェック）
・最低動作電圧測定
（4）分解精密点検（※2）

4. 保護継電器試験
1）名称及び機器番号
（1）地絡方向継電器（67R）
（2）過電流継電器（51R）
（3）不足電圧継電器（27R）

2）測定試験（整定タップ値に於いて）
（1）地絡方向継電器
・最小動作電流
・130%電圧、電流における時間特性
・位相特性
（2）過電流継電器
・最小動作電流
・200、300、500%電流における時間特性
（3）不足電圧継電器
・最小動作電圧
・70、50、0%電圧における時間特性

5. 保護連動試験
1）試験内容
下記試験内容について保護運動、インターロック及び、警報表示を確認する
・地絡
・過電流
・不足電圧
・過電圧
・その他、配電盤故障表示器

6. 高低圧回路絶縁抵抗測定
1）測定試験
下記項目につき各対地間に対して測定する
・各高圧回路
・高圧機器
・各低圧回路
・低圧機器

7. 接地抵抗測定
1）測定試験
・A種接地　（旧：第1種接地）
・B種接地　（旧：第2種接地）
・C種接地　（旧：特別第3種接地）
・D種接地　（旧：第3種接地）

8. 補足
※1・・・平成27年度、平成29年度のみ実施とする
※2・・・平成28年度のみ実施とする